

トヲ考へタデアリマセウガ、自作農ト云フ方ノ考が出て、而シテ隣接市町村ト云フコトニナッタ、昨日、山田君ノ御質問ニ出タルリマスルト云フト、同一市町村内ニ於ケル地價二百圓未満ノモノハ地租ヲ徵收シナイ、云フコトニ修正セラレタ爲ニ、政府ノ提案ノ趣旨ガ餘程變更セラレタコトニナリハシナイカ、其變更ト云フ意味ハ自作農、即チ地價ノ小額ナルモノヲ持ツテ居る農業者ノ負擔ヲ減ジ、從テ農村振興ト云フコトニ資シヤウト云フ考が餘程阻マレタヤウナ實例ヲ多ク生ジハシナイカト思フ、何故ナレバ昨日、山田君ノ質問セラレタ如クニ、住所地ノ市町村ニ於テ百九十九圓ノ地價ノ土地ヲ持ツテ居ル、偶々飛地ヲ隣接町村ニ二十圓ノ地價ノモノヲ持ツテ居ル、政府ノ元ノ案デアリマスト云フト、百九十圓ノ分ニ付テハ免稅ニナルノデアリマス、隣接町村ノ二十圓ノ地價ノモノハ是ハ不在地主ノ關係上、免租ニナラナイ、併シ百九十九圓分ハ免租ニナルノデアルガ、今回ノ衆議院ノ修正ニ依ツテ、隣接町村トノ合併シタモノガ二百十圓ト云フコトニナルカラ、全部ノ免租ニナラヌト云フコトニナル、私ハ斯ウ云フコトニ修正セラル、ノ趣旨ガ誤認シテハナイカト云フ今疑ヲ持ツタノデアリマス、即チ住所地市町村内ニ於ケル地價二百圓未満、而シテ小作ニ付セラレザルモノガ政府案ノ通り免租デアル、隣接市町村ノ分ト合シテ二百圓未満ナルトキ亦同ジ、斯ウ云フ修正ニナルベキ筋デハナカッタカト私ハ疑フ、即チ若シ隣接市町村ノ分ト合シテ二百十圓ニ偶々ノ分ト合シテ、以前ハ二百圓未満デモ隣接

ノガ營業稅ニ對スル改正ノ第二ノ目的デアタノデアリマス、ソレ等ノ理由カラ致シテ整理案ヲ作リマシタ、ソレガ即チ課稅標準ヲ純益ニ改メルト同時ニ、營業稅ノ負擔ノ總額ニ於テ四百十數万圓ノ減少ヲ圖タ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレ地租ヲ一分減ズルカラ營業稅モ四百万圓減ジナケレバナラヌ、斯ウ云フ趣意デハアリマセヌガ、營業收益稅其モノニ對スル所ノ負擔ノ總額ヲ幾分減ジタイ、斯ウ云フ考課稅以テ掛リマシタ、從テ營業收益稅ハ營業稅ニ比シテ四百十七万圓減少シ得ル、之ヲ生ジ決メタノデアリマス、ソレカラ營業收益稅ハ十六年分カラ施行スル譯デアル、十五年度分ニ付キマシテハ元ノ營業稅法ヲ準由スル、適用スルト云フコトニナッテ居リマス、其儘ニ打チャヤッテ置キマスレバ、當業者ノ負擔ガ十六年分カラ始メテ四百万圓輕減サレルノデ、十五年分ハ少シモ輕減サレコトニナル、然ルニ此度ノ稅制整理ニ於テマシテハ、多クノ改正カ大體ニ於テ十五年分カラ實行サレルコトニナッテ居ル、地租ニ其ツデアリマス、地租ヲ初メト致シテ、或ハ通行稅、醬油稅、賣藥稅、綿織物消費稅、其減免、所得稅ノ改正ト云フモノモ、大體十五年分カラ直ニ減免ガ實行サレルコトニナッテ居リマスガ、營業稅ニ限テ五年分ハ据置キ、十六年分カラ初メテ四百萬圓ヲ減ズルト云フコトハ不權衡ヲ生ズル、茲ニ於テ舊來ノ營業稅法ニ依テ計算ヲ致シマシタ其稅額カラ百分ノ八ヲ減ジテ五百シテ宜イカト考ヘマス、地租ニ限リマセヌ、其他ノ稅法モ大體十五年分カラ實行サレル無論地租モハ、テ居リマス、地租ノコトモ申万圓ノ減稅ヲシクト云フコトニナッテ居リマス、其他ノ十五年分ヨリ減免スルモノハ、

云フコトニ致シタノデアリマス、ソコデ是ハ私、露骨ニ申上ゲマスガ、營業稅ヲ既ニ四百万圓減ズルト云フコトニ致シマシタコトニ付テハ、大正十二年度ノ營業稅ノ整理ノ時ニ於テ御承知ノ通り加藤友三郎サンノ内閣ニ營業稅ダケ千九百万整理減ヲシタノアリマス、ソレト此度ノ四百万圓ノ減少ト合セマシテ二千三百万ノ輕減ヲ圖シタノデアリマス、是ハ十二年ノ時ノ整理ト今回ノ整理ヲ合セマシテ、二千三百万圓ノ減稅ニナッタ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソコデ政府ノ原案ニ於キマシテハソレトノ權衡ヲ取ル爲ニ地租ニ於テ免稅點デ千二百万圓、一分減ニ於テ九百万圓合計一千百万圓ト云フ程度ヲ定メタ、是ハ事實デアリマス、是ハ政府ノ原案ノ趣意ハ是デアリマス、ソレガ衆議院ノ修正ニ依フテ一分減ヲ見合セテ一千萬圓ダケ教育費ノ増額三充テタモノデアル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、然ラバ衆議院ノ修正ト云フモノハ政府ノ趣旨ト非常ニ懸隔ガアル、斯ウ云フ問題デアリマス、其點ニ付テハ本會議ニ於テモ申上ゲテ置キマシタガ、無論カッチリ符合シマセヌ、今ノ御説ノ通り符合シマセヌガ、先ヅ大體ニ於テ教育費ノ一千萬圓ノ増額ト云フモノハ農村ノ振興ニナル部分ガ多イ、大分多イ、地租一分減ヲヤッタノモ農村ノ振興ヲ圖リ其疲弊ヲ救濟スルト云フ大體ノ目的ニ出テ居ル、然ルニ以上ノヤウナ教育費ノ増額ノ爲ニ、多少ノ弊害ハ無論アリマスケレドモ、大體ニ於テ農村ノ疲弊ヲ救濟シ其振興ヲ圖ルト云フ目的ヲ達スルコトニナッテ居ルカラ、稅制整理ト云フ「システム」ト、ソレカラ教育費ノ増額ト云フ「システム」ト云フト、政府ノ所期シテ居タ目的ハ大體ニ於テ達スルコトガ出來ル、ソレ故ニ形

ニ差支ノナイモノダト認メテ衆議院ノ修正ニ同意ヲ致シタ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、教育費ノ今日ノ國庫負擔額ハ御承知ノ通り現在四千万デアリマスガ、ソレガ市ト町村トニ分配サレテ居リマス所ノ金額ヲ考ヘテ見マスト、是ハ昨日ドナタカノ御質問ニ對シマシテ、表ヲ持テ居リマセヌデシタカラ、明確ナ數字ヲ以テ御説明ヲ申上ダ兼ネタノデアリマス、唯今表ヲ持テ居リマスカラ……市ニ對スル所ノ配當金ガ三百八十七万餘圓デアリマス、町村ニ對スル配當金ガ三千六百十二万餘圓、合計四千万デアリマスカラ、町村ニ對スル配當金ハ九割以上ニナッテ居リマシテ、市ニ對スル配當金ハ一割未満ニナッテ居リマス、固ヨリ唯今御指摘ニナリマシタ通り、町村ニ對スル配當金三千六百万ト云フモノガ、無論全部農民ノ負擔輕減ニハナツテ居リマセヌ、町村ニ居ル所ノ商工業者ニ向ツテモ同ジク其恩惠が及んデ居ルコトハ勿論デアリマスケレドモ、先づ大體カラ云ヒマスレバ、此町村ト云フモノハ、農村ノ方ガ主タルモノデアリマスカラ、自然是ガ農村ノ振興ニナッテ居ル部分が多く、斯様ニ考ヘマシタノデ、大體差支ノナイモノト認メマシタ、ソレ故ニ稅制整理ト云フ一ツノ組織ノミニ限局シテ申シマスト、衆議院ノ修正ニ依ツテ多少ノ負擔ノ權衡ヲ得ルト云フコトヲ私モ之ヲ認メマスガ、併シ政府ノ政策ノ範圍ハ稅制整理ニ止マラヌ、教育費ノ問題モ是モ併セテ考ヲ要スルノデアリマス、左様ニ考ヘマスト、タ次第アリマス、第二ノ御質問ハ此度ノ稅制ノ整理ハ國稅ノ全體ニ及ンデ居ナイ、例ヘバ登録稅ノ如キ、印紙稅ノ如キ、砂糖スルコトガ出來ルモノデアル、斯様ニ考ヘ大體政府ノ初メ考ヘテ居タ目的ハ之ヲ達成消費稅ノ如キ、其他殘ツテ居ルモノガアルト

思フガ、是ハ續イテ整理ヲスル考デアルカ
ト云フ御質問デアリマス、此點ニ付キマシ
テハ、政府モ出來得ル限り全體ニ亘^ステ整理
案ヲ立テマシテ、御協賛ヲ仰グ運ビニ致シ
タカツタノデアリマス、段々仕事ガ輻輳シテ
參リマシテ、ソコマデ手ガ及バナカツタ
デアリマス、先づ主ナル部分ダケヲ整理案
ヲ立テマシテ、御協賛ヲ仰イダ次第ゴザ
イマス、從テ登錄稅、印紙稅、砂糖消費稅
ノ如キハ第二次ノ整理ニ譲リ、此度ハ之ヲ
残ス外ハナカツタノデアリマス、政府ト致シ
マシテハ、議會ガ終了イタシマスヤ否ヤ、
直チニ第二次ノ整理ニ著手ヲ致シマシテ、
唯今申上ダマシタ種類ノ稅目ニ付テ相當ナ
ル整理案ヲ立テタイト思^フテ居リマス、御說
ノ通リ残^ステ居リマスルモノハ強ヒテ相続
ノ體系ニ重大ナ影響ノアルモノデモアリマ
セヌシ、之ヲ第二次ノ整理ニ廻シマシテモ、
別ニ差支ハナカラウト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ第三ハ煙草ノ問題デアリマスガ、是
ハ馬場君ノ御話ノ通り、誠ニ是ハ困^クタ問題
デアリマス、先例ヲ申シマスレバ、御記憶
ノ通リデアリマシテ、此度引上ヲヤリマシ
タノガ、是ガ官有專賣ガ行ハレマシテカラ
五回目ノ引上デアリマス、第一回ハ確カ四
十年ノ夏、第二回ハ四十一年ノ一月、第三
回ハ大正六年ノ十二月、第四回ガ大正八年
ノ六月、斯様ニ既ニ四回ニ及^ステ煙草ノ値
上ガ行ハレテ居リマス、皆今回ト同一ノ筆
法ニ依^フテヤ^ハ居リマス、其前四回ノ引上
ヲ行ヒマシタ理由ニ付キマシテハ、書類ガ
總テ震災ノ爲ニ焼クマシタノデ、私ハハッ
ダケハ、是ハ他ノ財政計畫ト相俟^テテ增收
ヲ圖ルト云フ目的ニ出デタモノト思ヒマ
ス、其書類ガアリマセヌカラ、之ヲ文書三

依テ證明スルコトハ出來マセバ、確ニ左様デアッタラウト思ヒマス、是ハ御出席ニナフテ居ル阪谷男爵ガ當時大藏大臣デ御在ニチナタノデ、能ク御記憶ノコトデアラウト思ヒマス、財政計畫ノ一部トシテ其引上ヲ實行申上ダラレマセヌガ、恐ラクハ專賣局ノ都合ノミニデ煙草ノ定價ノ引上ヲナサツト不キマシテハ、書類ガ燒ケマシタ爲ニ何トモ申上ダラレマセヌガ、恐ラクハ專賣局ノ都合ノミニデ煙草ノ定價ノ引上ヲナサツト不フノデハアルマイト思ヒマス、無論、他ノ事情、一般ノ財政ノ事情ト相俟テ行々タモノデハナイカト思テ居リマス、其原因ハ、理由ハ免モ角ト致シマシテ、是マデノ先例ニ依リマシテモ、引上ダラヤリマス度毎ニ何カ適當ナル所ノ方法ハナイモノデアラウカ、唯今、馬場君ノ御述ベニナリマシタ通りノ心配ヲ以テ時ノ當局者ハ十分ニ注意ヲ致シ、研究ヲ致シタモノト思ヒマスガ、最毛適當ト認メマス方法ヲ發見スルニ至ラニセヌ、已カタノデアリマス、此度ノ引上ニ當リマシテモ、重ネテ研究イタシマシタ、何ト致シマシテモ名案ヲ發見スルニ至リマセヌ、已ムコトヲ得ズ先例ニ倣ヒマシテ之ヲ實行ヲシタ譯ニアリマスガ、此事柄ハ將來ニ向テモ殘ル問題ト思ヒマス、形式上カラ申シマスレバ、官業デアリマスカラ國家ノ私の收入デアリマス、憲法ノ明文ニハ無論抵触ハ致サナイト思シテ居リマスキレドモ、其實質カラ申シマスレバ、消費稅ノ關係デアリマス、國民ノ負擔ヲ増スコトニ付テハ同一最毛望マシイコトデ、將來ニ厦テモ是ハ研究スベキ問題ト思ヒマスガ、遺憾ナガラ今日マデハ十分ニ研究ハ致シマシタケレドモ、其適當ナル結論ニ達スルコトガ出來マセヌ

ノデ、先例ノ通り、御承知ノ通りノ方法ニ依シテ之ヲ決行イタシタト、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、私モ公人トシテモデス、デアルト左様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第四ノ地租免稅點ノコトニ付テ、政府ノ原案ト衆議院ノ修正トノ間ニ多少ノ目的以上ノ違ヒガアリハセヌカ、斯ウ云フ御質問、如何ニモ御尤デアリマシテ、ソレニ付キマシテハ少シ政府ノ原案ヲ作りマシタ其當時ノ考ヲ申上ダマシテ、御諒解ヲ得タイト思ヒマス、最初ニ政府ガ地租ノ免稅點ニ付テ研究ヲ始メマシタ目的ハ、全國ニ亘ルテ自作小農ノ保護ヲ致シタイ、斯ウ云フ考デアリマシテ、全國ニ亘ルテト申シマスレバ、自分ノ住マッテ居ル町村ニ限りマセヌ、其納稅者ガ全國ニ於テ所有ヲ致シ、之ヲ耕作ヲ致シテ居ル所ノ其田畠ヲ合計イタシマシテ、ソレガ地價二百圓未満デアッタ場合ニハ地租ヲ徵收シナイト云フ制度ガ一番徹底的デアリ、一番理想的デアルト考ヘマシタ、ソレヲ自分ノ居村ニ限ルト云フコトハ、是ハ極ク人工的デアリマス、人爲的デアリマス、公平ヲ得ナイ、隣接町村デモ私ハ徹底的デナイト思ヒマス、宜シク全國ニ亘テ自分ガ所有ヲ致シ、自分ガ耕作ヲ致シテ居ル所ノ土地ヲ總計イタシマシテ、其金額ガ二百圓以上デアルナラバ免稅シナイ、二百圓未満デアルナラバ免稅スル、斯ウ云フ制度ガ理論ノ徹底ヲスル爲ニ必要デアルト云フ、立法技術ト行政上ノ便否ト兩面力を、ソレヲ形ニ現ハスカ、又ハ如何ナル方法ニ依シテ之ヲ實行スルカト云フコトニナルカト云フ、立法技術ト行政上ノ便否ト兩面力を、テモソレヲ研究シマシタ、閣議ニ於テモ研究シマシタガ、何分ソレガ實行ハ困難デア

處ニ持テ居ル百四十圓ダケハ免稅サレヌ、唯居村タル所ノ甲地ノ五十圓ダケデ免稅サレルト云フコトハ不都合デハナイカ、斯ウガラソレヲ法文ニ現ハサナカツト云フノハ、前ニ言フ所ノ徵稅上ノ便否如何ト云フコトニ係ラテ居ル、ソコデサウ云フ非難ニ對シテ適當ナル方法ガ有リヤ否ヤト云フコトヲ、衆議院ノ委員會ニ於テモ段々研究ヲサレマシタ、政府ニ於テモ考究ヲシマシタガ、全國ニ亘テヤルコトハ到底出來ヌコト、又一稅務署ノ管内ニ亘テヤルコトモ出來ヌ、自分ノ住所ヲ持テ居ル所ノ町村ト並ニ之ト境ヲ接シテ居ル所ノ町村、即チ隣接町村デアリマス、ソレダケノモノヲ合セテヤリマスト云フト、先づ五六箇村ニナリマス、此五六箇村ヲ合計シテ二百圓未満ト云フコトニナルナラバ、其以外ニ於テ自作地ヲ持テ居ルト云フコトハ先づ無イデグラウ、隣接町村ノ五六箇村ヲ合セレバ、ソレニ依テ大體政府ノ初二立案シタ時ニ考ヘタ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルデアラウ、併シ手數ハ是ハ増シマス、ソレニ付テ馬場君ノ御質問ガアリマシタ通り、町村ノ手數ハ増シマス、又國家ノ費用モ多少増スダラウト思フ、併シ幾ラカソレガ政府ノ原案ヨリハ理論ニ近イコトニナル、ソコデ衆議院ノ修正ニ同意シテモ差支ナカラウ、斯様ニ考ヘテ同意シタノデアリマス、唯今、例ニ御舉ゲニナリマシタ通りノコトヲ考ヘテ見マスルト云フト、自分ノ居村ニ於テハ、百九十圓ヲ合セレバ二百十圓ニナリマスカラ免稅サレナイ、如何ニモ其通リ

デアリマス、最初ニ私ガ申シマシタ所ノ、自分ノ居村ニハ五十圓持テ居リ隣ノ村ニハ百四十圓持テ居ルト云フ場合ニ、原案ニスレバ五十圓ノ分ダケ免稅サレル、其ニツノ中何レガ多イカト云フコトハ疑問デアリマス、是ハ政府ニ於テモ之ヲ證明スベキ的確ナル材料ヲ持テ居リマセバ、或ハ相殺サレルカモ知レヌト思ヒマスガ、大體隣接町村ニ於テ免稅ノ恩典ヲ受ケル者ノ方ガ大體ニ於テ原案ヨリモ却テ幾ラカ多クハアルマイカ、斯様ニ漠然ト考ヘテ居リマス、是ハ證明スル材料ハ持テ居リマセヌガ唯今馬場君カラ申サレタ場合モ起アリマス、同時に私ノ申シタヤウナ場合モ起アリマス、是ハ要スルニ相伯仲スル所ノ議論デアリマシテ、利害ガ相半バスルト考ヘマスガ、併シ大藏當局ノ大體ノ達觀ニ依リマスレバ、隣接町村ヲ合算スルコトニ依ブテ、却テ免稅ヲ受クル者ガ多クナッタデアラウト云フヤウニ漠然ト考ヘテ居ル次第デアリマス、是ハ甚ダ不精密ナ御答デアリマスガ、左様ニ考ヘテ居リマス

率ハ、若シ地租一分減ト相對シテ定メラレ
テ、均衡ヲ得テ居ルト云フ御考ダト、營業
構造デアリマス、其點……ソレカラ只今
最後ノ問題ハ、私ノ申上ダルノハ、今ノ居
村ニ於テ二十圓持ツテ居ル、隣村ニ於テ百七
十圓ヲ持ツテ居ル、其場合ニ政府ノ原案デハ
二十圓シカ免稅サレヌ、今度ハ全部免稅サ
レルト云フコトデアリマスガ、私ノ試ニ提
案イタシタ所ニ依レバ、斯ウ云フコトニナ
ル、政府原案デアルト二十圓ダケシカ免ゼ
ラレナイデ、隣リノ村ノ百七十圓ト云フモ
ノハ全ク免稅サレヌガ、今度ノ修正案デハ
免稅サレル、ソレハ結構デアル、其代リ居
村ニ於テ百九十圓隣村ニ於テ二十圓持ツテ
居ル場合ニハ、全然免稅サレヌ、ソコデ私
ハ此政府並ニ衆議院ノ修正セムトスル考
ハ、斯ウ云フコトニナレバ兩方ガ目的ヲ達
シテ、而モ適當ナモノデヤナイカト云フノ
ハ、同一市町村内ニ於テ……所謂自作農者
ノ同一市町村内ニ於ケル地價二百圓未滿ナ
ル時ハ免稅スル、同一市町村デナクシテ隣
接町村ノ分ト合シテ二百圓未滿ナル時モ免
稅スル、斯ウ云フコトデアリマスレバ、居
村ニ百九十圓ヲ持ツテ隣村ニ二十圓ノ場合
ニ、少クモ百九十圓ノ分ハ政府ノ當初ノ案
ノ如ク免稅サレル、斯ウ云フコトニナッテ、
成程合セレバ二百十圓ニナルケレドモ、隣
村ノ二十圓ハ前ノ政府案ナラ全然免稅サレ
モ少シ修正スル者ノ考ガ足リナカッタノデ
ヤナイカト私ハ疑ヲ持ツ、其點ヲ御尋シタ
譯デアリマスガ、私ノ考ノ方ガ間違テ居
ルノデアリマセウカ、御面倒デアリマスガ

○國務大臣(濱口雄幸君) 营業収益税ノ御
話ハ是ハ初メニ申シマシタ通り、營業収益
税トシテ先ツ考ヘタノデアリマス、是ハ地
租ノ方ヲ考ヘテ然ル後營業収益税ノ方ノ四
百万圓輕減ヲスル、斯ウ云フ點カラ考ヘタ
ノデハアリマセヌノデ、營業収益税ハ組織
ヲ改善スルト同時ニ、其負擔ノ總額ヲ相當
ニ減少スルコトガ必要デアル、斯ウ考ヘマ
シタノデ、其點カラ税率カ斯ウナッタノデ
アリマス、ソレカラシテ營業収益税ヲ四百
万圓減ズルト云フト、前ノ十二年ノ減税ト
合セテ免ジタモノガ二千三百万圓ニナル、
ソコデ地租ハ如何、地租ニ溯テ考ヘル、地
租ノ方ハドウカ、免稅點デ千二百万圓、一
分減デ九百万圓、合計一千二百萬圓トスウス
ル、サウスレバ大體ニ於テ二千百万圓カニ
千二三百萬圓ニナルカラ、地租ト營業税ト
ノ均衡ヲ得ル、斯ウ思テ原案ヲ作タ、所ダ
衆議院ノ修正ニ於テ、一分減ト相俟テ之
ガ教育費ニ廻ルトナレバ、教育費ニ廻タ
結果、地租一分減ト非常ニ違タ結果ヲ惹
起スト云フコトニ是ハ屢々繰返シテ申シテ
マス通り、多少ノ喰違ヒハアルガ、大體ニ
於テ一分減ニ先ツ相當スル所ノ結果ヲ經濟
上カラ生ズルデアラウトスウ考ヘテ居リマ
ス、ソコデ其大體ノ目的ガ破壊サレム限リ
ハ、稅制整理ノ範圍内ニ於テ、少シ權衡ガ
誤テ教育費ノ増額ニナッタカラト申シテ
ト、國家ノ政策全體トシテハ敢テ差支ナイ、斯
ウ云フ考デアリマス、隨テ地租一步減ガ
スル考モ無イ、是デ大體宜カラウト思テ
居リマスソレカラ最後ノ御質問デアリマス
ガ、是ハ一種ノ御提案ノヤウデアリマス、
即チ自分ノ住居シテ居ル市町村内ニ於テ

持ツテ居ル地價ガ一百圓未満ノ場合、是ガツ、ソレガ免稅點、第二三ハ隣接市町村ト合セテ二百圓未満ナル場合ハ之ヲ免稅スル、サシタガ、サウ致シマスト私ハ二ツノ缺點ガアルト思フ、ソレハ理論ガ徹底シナイト云フコトガ第一、第二ニハ財源ノ關係ガオウシテハドウカ、ト云フ御提案ノヤウニ承リウダラウト思ヒマス、何故ニ理論ガ徹底シナイカト云フト、元々免稅點ヲ定メマスト云フコトハ所得稅ト致シマシテモ、相續稅ト致シマシテモ、總テ全國的ノモノデナケレバナラヌト思ヒマス、理論上カラ申スト稍、スレバ、…所ガ大體地租ハ物稅デアル、ソレニ向ツテ人稅デアルベキ所ノ免稅點ヲ定メルト云フコトハ、學理上カラ申スト稍、不倫カモ知レヌト思ツテ居リマスケレードモ、是ハ國家ノ政策ヲ加味スル場合デアルカラ差支ナイト思ヒマスガ、既ニ免稅點ヲ定メルト申スト、是ハ其人ニ屬スル所ノ全國ニ瓦ツテ持ツテ居ル耕作地デナケレバナラヌト云フコト混同イタシマス、ソレデ徵稅ノ便宜カラ市町村ニ限り、市町村ニ限ルナラバ自分ノ住居地タル市町村ト云フ主義デ行クカ、然ラザレハ隣接町村ト住居地タル市町村ト合セタモノデモ宜シイカ、ソレガ一定セヌト具合ガ惡イ、然ル時ニハ只今ノ御説ノ通リニ元論ニナッテ、單位ガ二ツ出来マシテ、自己ノ住宅地ニ持ツテ居ルモノガ二百圓未満ノ場合デモ免稅スル、ソレタガ自己ノ市町村ト隣接シタ町村ト合セテ二百圓未満ノモノデモ免稅スル、サウシマスクト、ソコニニツ主義ノ違ツタモノガ出テ來ルト思ヒマス、即チニ元論ニナリマスカラ、ドウモ負擔ノ公平ト云フ點カラ云フト具合ガ惡イヤウニ考ヘマス、第二ハ左様ニ致シマスト、免稅スル場合ガ多クナリマスカラ、從テ其免稅點設定ニ依ツテ國庫ノ歳入ノ減

少シマス金額ガ、千二百万圓ニ止マルト云
フコトハ困難ト思ヒマス、ソレガ幾ラ増加
シマスカト云フコトハ計算シタモノモアリ
マセヌカラ分リマセヌガ、相當ナ、千二百万
圓ヨリ増加ヲスルデアラウト思ヒマス、サ
ウ致シマスト今度ハ政府全體ノ計畫ニ影響
ヲ及ボス、財政上ノ關係モアリマスカラ
困難ナル事デハナイカト思ヒマス、御説ヲ
承リマシテ唯卽席ノ考ヲ申上ダマス
○馬場鍛一君 ソレ以上ハ少シ議論ニ涉リ
マスカラ、私ハ質問トシテハ、コヽデ止メ
マス

○末延道成君 私モ馬場君ト同様ニ、原内
閣ノ確カ大正八年九年頃ノ稅制整理委員ニ
舉ダラレマシテ、其小委員ニモナツテ、殆ド五
五代程ノ内閣ニ亘テ居リマスガ、一番最初
ニ、丁度其當時ハ政府委員ハ松本重威君カ
ト思ヒマスガ、其當時ハ主稅局長デアリマ
シタガ、其主稅局長ヨリ第一原案トシテ出
サレタモノガ、即チ今日大藏大臣ノ主張サ
レテ居ル稅制ノ形體デアリマス、サウシテ
所得稅ヲ以テ中樞トシ地租ト營業稅トヲ以
テ兩翼トスト云フノデ、是ハ支那人ノ詩覓
タヤウナモノニスレバ、大變語呂カ良イヤ
ウデアッテ、所謂白髮三千丈式デアルト自分
アルカ、ドウモ更ニ分ラヌ、此地租ト云フ
モノハ全體日本國民ガ殆ド脱レタ者ガナ
イ、納稅者ノ數カラ數ヘテモ、全國ノ戶數
ト相對シテ、全國ノ戶數ガ千三百万戶アル
ニ對シテ、納稅者ト云フモノハ千萬戸アル
ル、此稅ノ納稅人ガアルノニ……、地租ヲ
納メルコトハ全國ニ普及シテ居ル、又都市或
ハ村落ノ區別ガアルト言ハレルケレドモ、ド
ウモ區別ガナイ、之ヲ制定シタ當時カラ考ヘ
テ見レバ一向區別ハナイ、所謂農產國ト云フ

レテ居ル全國一ノ大縣ト稱スル新潟縣ノ地
租納稅額ハ幾ラアルカト云ヘバ、三百二三
十万、東京府、地積カラ云ヘバ最モ狭イ縣、
ソレデモ矢張リ三百三十万圓位ハ納メテ居
ル、殆ド同額デアリマス、サスレバ地租ト
云フモノハ農民ノミノ納メルモノデナイ全
國民ガ納メテ居ルト云ウテモ宣イモノデア
ル、地租制定ノ當時ニハ市デ納メルト云フ
コトニ少シモ輕重厚薄ハナカッタ、都市ニ
於テ輕重厚薄ハナカッタ、其證據ニハ東京
市内デモ、東京市ノ眞中デ、明治初年デハ
地租ガ重イト云ウテ持チ手ガナカッタ、例ヘ
バ水戸屋敷ノ如キ、今日デハ即チ砲工廠
トナンテ居ルガ、アノ當時ナント云フモノノ
ハ地租ガ重イト云フノデ持チ手ガ無イ、賣
ラウト云フテモ買ヒ手ガ無イ、ソレデ當時
陸軍中將デアツ山縣公ニ、オ前アレヲ取ラ
ヌカト云フコトデ山縣公ニオ鉢ガ廻ンタ時
ニ、私モドウモ地租グナメラレナイカラ、
寧口關口臺町ノ椿山莊ノ處ヲ貰ハウト云フ
ノデ、椿山莊ニ代ヘテ貰ヒタト云フ位
デアルカラ、所謂農民ト商民ト云フ
カニ、或ハ商工者ト云フ方トニ於テハ、地
租ノ負擔ニ於テハ輕重ハナイト云フノガ相
當デアラウト思フ、ソレ故ニドウモ之ヲ以
テ一方ノ、所謂地租ガ農民ノ稅デアリ商民
ノ稅デナイト見ルノハ、是ハ私共カラ申セ
バ官僚思想デアル、官僚思想ト云フモノハ
想フ生ジタ、ソレカラ營業稅ヲ以テ兩翼ノ
一方トスルノハ實ニ無理ナ話デ、何モ地租
工商ト云フ別ヨリ生ジテ居ル、斯ウ云フ思
ガ農民ノ稅デナイ爲ニハ、矢張リ地租ノ負

擔ト云フモノハ寧口市街ノ方ガ多イ、今日デハ益、多クナッテ居ル、非常ニ地價ガ高クナッテ、所謂商民ノ營業ノ負擔ト云フモノハ、土地ニ對スル負擔ガ益、多クナッテ居テ、少シモ所謂商民農民ノ區別ニハナラナイ、之ヲ兩翼ト云フカ如キハ大イナル、少シモ國民ノ中ニ地租ヲ拂ハヌト云フ人ハナイ、丁度佛蘭西ノ尼ノ衣ト同ジコトデアッテ、唯薄イカ厚イカト云フニ至ッテハ、矢張リ衣ノ如ク薄クハアルケレドモ、之ニモ一ツ農民ノ禮デアルカラ尙ホ著ヨト云フコトハ、コチラ側ニ座ツテ居ル人ハ帽子ハ、一ツ冠ツテ宜シイガ、向ウ側ノ人ハ帽子ヲ二重ニ冠レト言フコトト先ツ同ジ論理デアラ、藤村君モ形體論ハ何ノ爲カ分ラスト云フコト思ヒマス、ソレデ此形體論、昨日カラトヲ言ハレテ居タノデアリマスガ、形體論ニ餘リ重キヲ置カレルト云フコトガ抑、稅制整理ノ一番ノ先ツ見込達ト云フカ、或ハ所謂四民ノ別ニ囚ハレテ居ルノデハナイカト思ハレル、ソレガ爲ニ此營業ト云フ定義ガ少シモ極マツテ居ナイ、營業ト云フナラバ農業デモ營業デアラウ、恐ラクハ金ヲ儲ケヤウトスルモノハ盡ク營業ナクテハナラヌ、其定義ヲ缺イテ居ルガ爲ニ實ニ甚ダ矛盾ナコトガ生ジテ居ル、今日所謂列舉の二商人ト稱スルノデ、全ク主義ガ徹底シナイヤウニナッテ居ル、現ニ吾ミノ營業ヲシテ居ル丸ノ内ノ土地ガ地面ヲ貸スニモ、貸地モ貸家モ是ハ農業デアルト云フ：：今ノ定義デ言ヘバ農業デアル、一軒ノ家ガ百五十萬圓ニモナル貸家ガ即チ農業デアッテ、本ヲ貸スカ夜具ヲ貸スナラバは商人、常ニ岩崎君ガ丸ノ内ニアッテ農業ヲ營ンデ居

ルト云フ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、今ノ即チ改正ノ成立セントスル此營業稅ト云フモノハ、全クソノ主義ガ立ツテ居ナイ、ソレガ爲ニ非常ナル紛糾ヲ生ジテ居ル、今ノ議論ノ澤山起ルノモ、所謂四民ノ別ト云フコトガ矢張リ立法者ノ腦裏ニ存シテ居ルノデ、ドウモ何時マテ經ツテモ是ハ此間違テ、若モ人間ノ身體カ衣服ニ喰ヘルテバ、地租ハ先ツ佛蘭西ノ所謂天主教ノ尼ノ冠ツテ居ル衣ノ如キモノ、頭カラ冠ツテ居ル、少シモ國民ノ中ニ地租ヲ拂ハヌト云フ人ハナイ、丁度佛蘭西ノ尼ノ衣ト同ジコトデアッテ、唯薄イカ厚イカト云フニ至ッテハ、矢張リ衣ノ如ク薄クハアルケレドモ、之ニモ一ツ農民ノ禮デアルカラ尙ホ著ヨト云フコトハ、コチラ側ニ座ツテ居ル人ハ帽子ハ、一ツ冠ツテ宜シイガ、向ウ側ノ人ハ帽子ヲ二重ニ冠レト言フコトト先ツ同ジ論理デアラ、藤村君モ形體論ハ何ノ爲カ分ラスト云フコト思ヒマス、ソレデ此形體論、昨日カラトヲ言ハレテ居タノデアリマスガ、形體論ニ餘リ重キヲ置カレルト云フコトガ抑、稅制整理ノ一番ノ先ツ見込達ト云フカ、或ハ所謂四民ノ別ニ囚ハレテ居ルノデハナイカト思ハレル、ソレガ爲ニ此營業ト云フ定義ガ少シモ極マツテ居ナイ、營業ト云フナラバ農業デモ營業デアラウ、恐ラクハ金ヲ儲ケヤウトスルモノハ盡ク營業ナクテハナラヌ、其定義ヲ缺イテ居ルガ爲ニ實ニ甚ダ矛盾ナコトガ生ジテ居ル、今日所謂列舉の二商人ト稱スルノデ、全ク主義ガ徹底シナイヤウニナッテ居ル、現ニ吾ミノ營業ヲシテ居ル丸ノ内ノ土地ガ地面ヲ貸スニモ、貸地モ貸家モ是ハ農業デアルト云フ：：今ノ定義デ言ヘバ農業デアル、一軒ノ家ガ百五十萬圓ニモナル貸家ガ即チ農業デアッテ、本ヲ貸スカ夜具ヲ貸スナラバは商人、常ニ岩崎君ガ丸ノ内ニアッテ農業ヲ營ンデ居

ルト云フ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、今ノ即チ改正ノ成立セントスル此營業稅ト云フモノハ、全クソノ主義ガ立ツテ居ナイ、ソレガ爲ニ非常ナル紛糾ヲ生ジテ居ル、今ノ議論ノ澤山起ルノモ、所謂四民ノ別ト云フコトガ矢張リ立法者ノ腦裏ニ存シテ居ルノデ、ドウモ何時マテ經ツテモ是ハ此間違テ、若モ人間ノ身體カ衣服ニ喰ヘルテバ、地租ハ先ツ佛蘭西ノ尼ノ衣ト同ジコトデアッテ、唯薄イカ厚イカト云フニ至ッテハ、矢張リ衣ノ如ク薄クハアルケレドモ、之ニモ一ツ農民ノ禮デアルカラ尙ホ著ヨト云フコトハ、コチラ側ニ座ツテ居ル人ハ帽子ハ、一ツ冠ツテ宜シイガ、向ウ側ノ人ハ帽子ヲ二重ニ冠レト言フコトト先ツ同ジ論理デアラ、藤村君モ形體論ハ何ノ爲カ分ラスト云フコト思ヒマス、ソレデ此形體論、昨日カラトヲ言ハレテ居タノデアリマスガ、形體論ニ餘リ重キヲ置カレルト云フコトガ抑、稅制整理ノ一番ノ先ツ見込達ト云フカ、或ハ所謂四民ノ別ニ囚ハレテ居ルノデハナイカト思ハレル、ソレガ爲ニ此營業ト云フ定義ガ少シモ極マツテ居ナイ、營業ト云フナラバ農業デモ營業デアラウ、恐ラクハ金ヲ儲ケヤウトスルモノハ盡ク營業ナクテハナラヌ、其定義ヲ缺イテ居ルガ爲ニ實ニ甚ダ矛盾ナコトガ生ジテ居ル、今日所謂列舉の二商人ト稱スルノデ、全ク主義ガ徹底シナイヤウニナッテ居ル、現ニ吾ミノ營業ヲシテ居ル丸ノ内ノ土地ガ地面ヲ貸スニモ、貸地モ貸家モ是ハ農業デアルト云フ：：今ノ定義デ言ヘバ農業デアル、一軒ノ家ガ百五十萬圓ニモナル貸家ガ即チ農業デアッテ、本ヲ貸スカ夜具ヲ貸スナラバは商人、常ニ岩崎君ガ丸ノ内ニアッテ農業ヲ營ンデ居

ルト云フ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、今ノ即チ改正ノ成立セントスル此營業稅ト云フモノハ、全クソノ主義ガ立ツテ居ナイ、ソレガ爲ニ非常ナル紛糾ヲ生ジテ居ル、今ノ議論ノ澤山起ルノモ、所謂四民ノ別ト云フコトガ矢張リ立法者ノ腦裏ニ存シテ居ルノデ、ドウモ何時マテ經ツテモ是ハ此間違テ、若モ人間ノ身體カ衣服ニ喰ヘルテバ、地租ハ先ツ佛蘭西ノ尼ノ衣ト同ジコトデアッテ、唯薄イカ厚イカト云フニ至ッテハ、矢張リ衣ノ如ク薄クハアルケレドモ、之ニモ一ツ農民ノ禮デアルカラ尙ホ著ヨト云フコトハ、コチラ側ニ座ツテ居ル人ハ帽子ハ、一ツ冠ツテ宜シイガ、向ウ側ノ人ハ帽子ヲ二重ニ冠レト言フコトト先ツ同ジ論理デアラ、藤村君モ形體論ハ何ノ爲カ分ラスト云フコト思ヒマス、ソレデ此形體論、昨日カラトヲ言ハレテ居タノデアリマスガ、形體論ニ餘リ重キヲ置カレルト云フコトガ抑、稅制整理ノ一番ノ先ツ見込達ト云フカ、或ハ所謂四民ノ別ニ囚ハレテ居ルノデハナイカト思ハレル、ソレガ爲ニ此營業ト云フ定義ガ少シモ極マツテ居ナイ、營業ト云フナラバ農業デモ營業デアラウ、恐ラクハ金ヲ儲ケヤウトスルモノハ盡ク營業ナクテハナラヌ、其定義ヲ缺イテ居ルガ爲ニ實ニ甚ダ矛盾ナコトガ生ジテ居ル、今日所謂列舉の二商人ト稱スルノデ、全ク主義ガ徹底シナイヤウニナッテ居ル、現ニ吾ミノ營業ヲシテ居ル丸ノ内ノ土地ガ地面ヲ貸スニモ、貸地モ貸家モ是ハ農業デアルト云フ：：今ノ定義デ言ヘバ農業デアル、一軒ノ家ガ百五十萬圓ニモナル貸家ガ即チ農業デアッテ、本ヲ貸スカ夜具ヲ貸スナラバは商人、常ニ岩崎君ガ丸ノ内ニアッテ農業ヲ營ンデ居

ルト云フ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、今ノ即チ改正ノ成立セントスル此營業稅ト云フモノハ、全クソノ主義ガ立ツテ居ナイ、ソレガ爲ニ非常ナル紛糾ヲ生ジテ居ル、今ノ議論ノ澤山起ルノモ、所謂四民ノ別ト云フコトガ矢張リ立法者ノ腦裏ニ存シテ居ルノデ、ドウモ何時マテ經ツテモ是ハ此間違テ、若モ人間ノ身體カ衣服ニ喰ヘルテバ、地租ハ先ツ佛蘭西ノ尼ノ衣ト同ジコトデアッテ、唯薄イカ厚イカト云フニ至ッテハ、矢張リ衣ノ如ク薄クハアルケレドモ、之ニモ一ツ農民ノ禮デアルカラ尙ホ著ヨト云フコトハ、コチラ側ニ座ツテ居ル人ハ帽子ハ、一ツ冠ツテ宜シイガ、向ウ側ノ人ハ帽子ヲ二重ニ冠レト言フコトト先ツ同ジ論理デアラ、藤村君モ形體論ハ何ノ爲カ分ラスト云フコト思ヒマス、ソレデ此形體論、昨日カラトヲ言ハレテ居タノデアリマスガ、形體論ニ餘リ重キヲ置カレルト云フコトガ抑、稅制整理ノ一番ノ先ツ見込達ト云フカ、或ハ所謂四民ノ別ニ囚ハレテ居ルノデハナイカト思ハレル、ソレガ爲ニ此營業ト云フ定義ガ少シモ極マツテ居ナイ、營業ト云フナラバ農業デモ營業デアラウ、恐ラクハ金ヲ儲ケヤウトスルモノハ盡ク營業ナクテハナラヌ、其定義ヲ缺イテ居ルガ爲ニ實ニ甚ダ矛盾ナコトガ生ジテ居ル、今日所謂列舉の二商人ト稱スルノデ、全ク主義ガ徹底シナイヤウニナッテ居ル、現ニ吾ミノ營業ヲシテ居ル丸ノ内ノ土地ガ地面ヲ貸スニモ、貸地モ貸家モ是ハ農業デアルト云フ：：今ノ定義デ言ヘバ農業デアル、一軒ノ家ガ百五十萬圓ニモナル貸家ガ即チ農業デアッテ、本ヲ貸スカ夜具ヲ貸スナラバは商人、常ニ岩崎君ガ丸ノ内ニアッテ農業ヲ營ンデ居

ハ矢張リ宅地デアリマスカラ、宅地ノ免稅ヲスルト云フコトニナリマスルト其區別ガ甚ダ困難デアリマス、即チ小サイ所ノ商ヲシテ居ル者モ、或ハ小サイ工業ヲシテ居ル者モ、自分ノ宅地ヲ持テ居レバ免稅ヲサレベキモノデアリマシテ、政府ノ政策デアル所ノ自作農獎勵ト云フコトハ少シ問題ガ懸離レテ參ルト思ヒマス、又郡村ノ小作人ノ住マツテ居ル宅地デアリマシテモ、其宅地ノ所有權ハ必シモ其住マツテ居ル人ニハナイ場合ガアルト思ヒマス、或ハ地主ノ宅地ヲ借りテ其上ニ家ヲ建テ、居ルト云フ場合モアラウト思ヒマスカラ、宅地ニ免稅スルト云フコトモ、是ハ一種ノ議論デアリマスケレドモ、政府ノ自作農獎勵ノ目的トハ少シ違ヒガ出來テ居ルヤウニ思ヒマス、小民ニ對シテ稅ヲ課サヌト云フ御趣意ニハ私共決シテ反対ハアリマセヌガ、此地租ノ免稅點ヲ設定シタ趣意カラ言ヒマスト、今ノ御趣意トハ少シ違テ居ルノデアリマス、小民ニ對シテ稅ヲ取ラヌト云フ此趣旨ヲ貫ク爲ニハ、他ノ政府ノ原案ニモ相當考慮ヲ致シテ居リマス、即チ生活ノ必需品ニ對スル消費稅ヲ、或ハ輕減シ或ハ免除スルト云フコトニ依テ其目的ヲ達セラレルモノニアリマス

○未延道成君 此自作自用ト云フコトノ解釋デモ、私ハ今日ノ所謂農業ト云フコトノ解説ヨリスレバ、自作ト云フコト、自用ト云フコト、ハ、自用モ所謂自作デアル、詰リ土地ヲ自用スルト云フコトハドウニカシテ自用スル、鷄ヲ飼テモ自用ニナル、又ハ家ヲ建テ、モ自用デアル、家ヲ建テ、貸シテモ矢張リソレハ農業ノ一ツニナル、デアリマスカラ自作ト云フ文字ニ自用ト云フコトモ含メレバ、即チ其目的ヲ達セラレヤ

ウト私ハ思ヒマス、少シモ差支ハナイト思フ、殊ニ今ノ所謂地租ガ抑、非常ナ貧民稅者モ、自分ノ宅地ヲ持テ居レバ免稅ヲサレベキモノデアリマシテ、即チ小サイ所ノ商ヲトナフテ居ルト云フコトハ…、是ハ今日デシテ居ル者モ、或ハ小サイ工業ヲシテ居ル者モ、自分ノ宅地ヲ持テ居レバ免稅ヲサレベキモノデアリマシテ、政府ノ政策デアル所ノ自作農獎勵ト云フコトハ少シ問題ガ懸離レテ參ルト思ヒマス、又郡村ノ小作人ノ住マツテ居ル宅地デアリマシテモ、其宅地ノ所有權ハ必シモ其住マツテ居ル人ニハナイ場合ガアルト思ヒマス、或ハ地主ノ宅地ヲ借りテ其上ニ家ヲ建テ、居ルト云フ場合モアラウト思ヒマスカラ、宅地ニ免稅スルト云フコトモ、是ハ一種ノ議論デアリマスケレドモ、政府ノ自作農獎勵ノ目的トハ少シ違ヒガ出來テ居ルヤウニ思ヒマス、小民ニ對シテ稅ヲ課サヌト云フ御趣意ニハ私共決シテ反対ハアリマセヌガ、此地租ノ免稅點ヲ設定シタ趣意カラ言ヒマスト、今ノ御趣意トハ少シ違テ居ルノデアリマス、小民ニ對シテ稅ヲ取ラヌト云フ此趣旨ヲ貫ク爲ニハ、他ノ政府ノ原案ニモ相當考慮ヲ致シテ居リマス、即チ生活ノ必需品ニ對スル消費稅ヲ、或ハ輕減シ或ハ免除スルト云フコトニ依テ其目的ヲ達セラレルモノニアリマス

○國務大臣(濱口雄幸君) サウシマスルト小作ニ付シタルモノハ此限ニ在ラズト云フコトヲ裏カラ考ヘテ、自作ノ場合ハ免除スルト云フコトモ、假令農業ニ使ハヌデモ、商業ニ使フテモ、工業ニ使フテモ、ソレハ自カラ自分ノ土地ヲ用ギテ居ルカラ自作デアルト云フ解釋ニハ、私ハ御同意出來兼ネマスケレドモ、假ニサウ致シマスレバ此法律ノ修正ニナリマス、田畠トナッテ居リマスカラ、法律ノ上デハ田畠宅地ト云フ風ニ修正ヲ要スルコトニナルノデアリマス、其御趣意カラスレバ…

○委員長(子爵前田利定君) 午前ハ是デ會ヲ閉デマシテ、午後ハ一時三十分カラ開會イタシマス

午後零時 一分休憩

午後一時四十一分開會

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、御通告カゴザイマシタカラ

○男爵藤村義朗君 私ハ先達テ本會議ニ於キマシテ政府ノ原案ヲ修正サレマシタコ

ト思ヒマス、藤村男爵ト思ヒマス、ソレニ付テハ數點ニ及テ伺タノデアリマス

○男爵藤村義朗君 私ハ先達テ本會議ニ於キマシテ政府ノ原案ヲ修正サレマシタコ

ス、ソレニ付テ大藏大臣カラ詳シ御答辯

ヲ得マシタケレドモ、マダチヨット了解シカ

ウト私ハ思ヒマス、少シモ差支ハナイト思フ、殊ニ今ノ所謂地租ガ抑、非常ナ貧民稅者モ、自分ノ宅地ヲ持テ居レバ免稅ヲサレベキモノデアリマス、本會議ノ大藏大臣ノ御存スベキモノデナイト思ヒマス、自作ト云フ全ク解釋ニ依テ、自用ヲ自作ト云フコトニスレバ、人ニ貸シテヤル、即チ貸地トナフテ居ルト云フコトハ少シ問題ガ

ハ有稅トナリ、貸地デナイモノハ悉ク自用

トスレバ、矢張リ自作地トナッテ來ルノデ、

コトニスレバ、人ニ貸シテヤル、即チ貸地

ト度凡ソ總數ノ七百万人ヲ免稅スルコトガ

出来ルト思ヒマス

○國務大臣(濱口雄幸君) サウシマスルト

小作ニ付シタルモノハ此限ニ在ラズト云フ

コトヲ裏カラ考ヘテ、自作ノ場合ハ免除ス

ルト云フコトモ、假令農業ニ使ハヌ

デモ、商業ニ使フテモ、工業ニ使フテモ、ソ

レハ自カラ自分ノ土地ヲ用ギテ居ルカラ自

作デアルト云フ解釋ニハ、私ハ御同意出來

トシマシテハ、若シ貴族院ニ於テ此原案

ガニ、政府ノ原案ガ復活シテモ無論御異存

シテ貰ヒタイト云フヤウナ御説明デアリマ

シタ、其位ノ御同意ノ程度ナラ、單ニ政府

トシマシテハ、若シ貴族院ニ於テ此原案

ガニ、政府ノ原案ガ復活シテモ無論御異存

述ベニナリマシタケレドモ、ソレハサウデ
アリマセヌ、此修正ハ差支ヘナイモノト認
メル、斯ウ云フコトヲ申上ダタノデ、其差
シタノデアルカラ貴族院ニ於テモ成ルベク
ソレニ協賀ヲ願ヒタイト、斯ウ云フ意味デ
申上ダタノデアリマス、其點ハ明カニ致シ
テ置キタイト思ヒマス、如何ニモ地租ノ一
分減ノ問題ト教育費増額ノ問題トハ、一方
ハ稅制整理ニ關スル事柄デアリ、一方ハ他
ノ事柄デアルト云フ違ヒハアリマス、ソレ
カラ一方ハ歲入ノ減少ニナルノデアリ、一
方ハ歲出ノ増加ニナル事柄デアルカラ、豫
算ノ關係モ違フノデアルト云フコトハ、如
何ニモ御說ノ通りデアリマス、併シ是ハ形
式上ノ問題デアリマス、其實質上ニ付キマ
シテハ、先刻來モ申上ダテ居リマス通り、
大體ニ於テ其歸著スル所ハ政府ノ所期シタ
如キモノト同一ノ所ニ落著クモノデアル、
ソレ故ニ差支ナイ、斯様ニ申シタノデアリ
マス、差支ナイト認メタモノガ衆議院ヲ通
過シタカラ、當院ニ於テモドウゾ御協賀ヲ
願ヒタイ、斯ウ云フ趣意デアリマス、ドウ
ゾ左様御承知ヲ御願イタシマス

更ニ唯今御詰ガアリマシタヤウニ、教育費ノ方ガ増加ニナルカラ負擔ノ歸著スル所ハ一分減ヲ行フタ所ノモノト略、同様ノ結果ニナル、故ニ大體シテ考ヘレバ營業税トノ間ニ負擔ノ均衡ヲ失スルト云フコトハ思是ハド、チニシテモ問題外ノコトト私ハ思フ、問題ハ九百六十万圓ト云フノガ問題デアル、唯今モ申シタ通リニ、教育費ノ増加ニ依テ同ジ結果ニナルカラ、負擔ノ權衡ヲト云フ趣意ハ、此度ノ修正ニ依テ没却サレタ云フ御詰デアリマスルケレドモ、此稅制整理ノ目的ガ之ニ依テ負擔ノ均衡ヲ圖ルヲ失フト言ハヌデモ宜イデハナイカレタ云フ御詰デアリマスルケレバナラスト思フ、レタモノト私ハ見ナケレバナラスト思フ、假リニ一步ヲ譲リマシテ衆議院ノ修正ガ可ナリト致シマシテモ、然ラバ此義務教育ノ負擔金一千萬圓ト云フモノガ、其中ドノ位ガ負担ノ輕減ニ當テラレルカト云フコトニ付テハ、マダ私ハ御説明ヲ承ハラヌヤウニ思フ、政府カラ御廻シ下サイマシタ是マデノ増加ノ費途ノ調ニ依リマスト、大正七年ソレカラ大正十二年ノ負擔金尠額三千万圓ノ中、負擔ノ輕減ニ當テラレタモノガ一千五百五万圓ト云フコトニナツテ居リマス、假リニ此十二年度ノ時ノ割合ト同ジニ、今回ノ一千萬圓ト云フモノガ割當ラレマストシマシタ所ガ、先ツ半額五百万圓位ガ負擔ノ輕減ト云フ方ニ充當サレルノデアラウト思フ、サウシマスト云フト矢張リ四百五六十万圓ト云フモノハ、是ガ爲ニ負擔輕減ノ方即チ學校ノ方ノ教員ノ増加デアルトカ、增給デアルトカ、或ハ學校ノ營繕デアルトカ

云フ、學校ノ改善ト云フ方ニ向ケラレルノ
デアルト思フ、ソレデ昨日モ申シマシタ通
リニ、此義務教育費ノ國庫負擔ト云フコト
向ルナント云フコトハ、ドウモ法律ノナニ
カラ見マシテモ甚々面白クナイコトノヤウ
ニ思フ、デアリマスルカラ、一步ヲ譲、テ修
正案ヲ是ナリトシマシタ所デ、矢張リ負擔
ノ輕減ト云フコトニ付キマシテハ、地租一
分減ト云フ方ニ較ベルト餘程輕減ニナラヌ
ト云フコトニナルノデアリマスガ、其邊ニ
付テドウ云フ御考デアラウカ、尙ホ一應御
確メヲ致シテ置キマス

トニナリマスレバ二百餘万圓、モットハキ
リ申セバ二百三十八万圓ト云フ金額ガ出テ
居リマス、此衆議院ノ修正ノ結果其通りニ
ナルト致シマスレバ、多少減ガ減リマスカラ
、此補填ニ要スル所ノ金額ガ減リテ、モッ
ト少クテ宜シト云フ、サウ云フ結果ニナッ
テ居リマス、其次ニハ御承知ノ通り市町村
稅ト致シマシテハ府縣ノ營業稅或ハ府縣ノ
雜種稅、ソレニ對スル附加稅ガアリマス、
所デ此度ノ地方稅制ノ整理ニ依ツテ府縣ノ
營業稅、府縣ノ雜種稅ノ中不適當ナル所ノ
稅目ヲ廢止イタスコトニナッテ居リマス、
府縣稅ノ廢止ヲシマシタ結果、市町村ノ附
加稅ガソレダケ減收ニナリマスカラ、ソレ
ヲ補填スル必要ガ出テ參リマス、是ハ營業
稅ノ附加稅ト、雜種稅ト附加稅ト合セマシ
テ、百三十一萬餘圓ト云フ計算ガ出テ居リ
マス其二口ヲ二千萬圓ノ總額カラ引キマス
ト云フト、殘リガ千六百三十萬餘圓トナリ
マス、其金額ハ市町村ノ戶數割並ビニ戶數
割ニ代ルモノトシテ此度増徵イタシマスル
ト云フト、十五年度ノ豫算ニ計上シテアリ
マス所ノ二千万圓ノ使ヒ途ハ交付金ノ減收
ノ補填ニ當テマスニ百三十餘萬圓ヲ除キマ
シ後ノ金額、即チ千八百六十餘萬圓ト云
フモノハ全部負擔ノ減少ニ向ケラレル、斯
ウ云フ結果ニナラウト思ヒマス、是ハ二千
万圓ノ問題デアリマス、而シテ此度地租一
分減ヲ埋メ合セマスル結果、教育費ヲ更ニ
千万圓増加イタシマストスルナラバ、其千
万圓ノ金額ハマダ關係各省ノ間ニ於キマシ

テ具體的ニ商議ハ出來テ居リマセヌケレド

モ、大體ノ考ト致シマシテハ全部負擔ノ輕減ニ當テルヤウニ之ヲ分配イタシタコトス様ニ思テ居リマス、教育費ノ國庫負擔額ヲ増加イタシテ、ソレヲ直チニ負擔ノ輕減ニ當テルト云フコトハ國庫負擔額ノ增加ノ目的ニ反スルデハナイカ、斯ウ云フ疑問モ世上ニハ起テ居リマス、是ハ言葉ヲ簡單ニスル爲ニ、教育費ノ増額ヲ負擔ノ輕減ニ當テルト申シマスケレドモ、之ヲ正確ニ申シマスト云フト、國庫負擔額ヲ增加スルト云フト、ソレダケ地方負擔ノ金額ガ減少イタシマス、此處ニ於テ地方ノ歲入ガ餘リヲ生ジマス、其歲入ニ生ジマシタ所ノ餘裕ヲ以テ、負擔ノ輕減ニ當テルスウ云フコトニナリマス、理論上一向差支ヘハナイト思フノデアリマス、要スルニ此度ノ一千万圓ハ全部ト絕對ニ申シマシテハ或ハ語弊ガアルカモ知レヌガ、私ノ只今ノ考ト致シマシテハ、先づ大體全部負擔ノ輕減ニ當テルヤウナ用途ニ使ヒタイト、斯様ナ考ヲ持テ居リマス。

○男爵藤村義朗君 次ニ伺ヒタイノハ、是

ハ世間ニ地租ノ免稅點ノ設定ニ付テ議論ガアリマスガ、例へバ此地租ハ今度賃貸借ノ價格ニ依テ、之ヲ課稅標準ニスルト云フコトニ改メマシタコトハ、即チ收益稅ニ改メタノデアル、收益稅ニ改メタ以上ハ、收益ノアル土地ニ課稅ヲシテ、收益ノナイ土地ニ免稅スルノガ至當テアルト思フノニ、田畠ノミニ限テ免稅點トスルト云フコトハ、一體ドウ云フ譯デアルダラウト云フヤウナ議論モホルノデアリマス、此點ニ付テ尤モノヤウニ聞エマスケレドモ、ドンナモノデアリマセウカ、御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大藏大臣(濱口雄幸君) 洩ニ失禮デゴザ

イマスガ、モウ一度嘗試點ヲモウ一回ドウ

ゾ

○男爵藤村義朗君 地租ノ地價ヲ課稅標準トスルコトヲ、來々年度カラ之ヲ負貸借價格ニスル、サウスルト云フ詰リ地租ト云フモノガ收益稅ノ性質ヲ持ツコトニナル、然ル上ハデス、收益ノアル土地ニ賦課ヲシテ、收益ノナイ土地ニ免稅ヲスルコトガ至アルカト云フコトデアリマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 田畠ノミニ限テ免稅點ヲ置キマス、其他ノ費目ニ付テハ免稅點ヲ設ケナカツタト云フ理由ニ付テノ御質問ノヤウニ承リマシタ、田畠ニ限テ免稅點ヲ設ケマシタノハ、即チ屢々申上ダマス通り、自作農ノ獎勵ノ主義デアリマス、耕作地ニ限ル、即チ田畠ニ限ル、斯ウ云フ理由ニ外ナラヌノデアリマス、其他ノモノニ付キマシテモ、ソレハ議論ハ問題ガ残リマセウケレドモ、主タル目的ハ小作農ノ負擔ヲ輕ク、殊ニ自作地ノ負擔ヲ輕クシ、ソレニ依テ自作ノ維持ヲ圖リ創設ヲ圖ル、斯ウ云フ主義デアリマスカラ、田畠ニ限タノデアリマス

○男爵藤村義朗君 次ニ伺ヒタイノハ、今朝モ未延君カラチヨント御詰ガアッタヤウニ心得テ居リマスガ、其免稅點ヲ設ケル結果、全國千百十萬トカ二十萬トカノ地主ガアルト云フ詰デアリマス、ソレガ事實デアリマスレバ其地主ノ内ドノ位ノ者ガ免稅サレル譯ニナルノデアリマセウカ、是ハ數字ノ御質問デソレ丈ヶ伺ヒマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今ノ御質問ニ付キマシテハ、法人ノ留保所得ニ對スル累進課稅ヲ廢シマシテ、比例稅ニスルニ付キマシテ一面同族會社ノ取締ヲドウスレハ宜シカ、ト云フコトニ就テ非常ニ是ハ苦心致シテ居ルノデアリマス、此規定ハ甚だ込入テ居リマスノデ、一通リノコトハ心得テ居リマスガ、詳細ニ付キマシテハ政府委員カラ説明シタ方ガ御了解ヲ得易イト思ヒ

○國務大臣(濱口雄幸君) 今日ノ地租納稅者ガ千百万人バカリアルコトハ、末延君ノ御詰ノ通リデアリマセウカ、其内此度ノ二百圓

未滿ノ田畠ヲ所有シテ居ル者ハ免稅スルコトニ致シマスル結果、田畠ニ付テ納稅ヲシテ居ル者ノ數ガ六百万人乃至七百万人ニ減

○政府委員(黒田英雄君) 同族會社ト申シマスノハ現行法ニ規定シテ居リマスルモノ

少ヌル結果ニナリマス、尤モ是ハ田畠ニ限

タ話デアリマスカ、田畠ト合セテ宅地ヲ所有シテ居ル者モ澤山アラウト思ヒマス、地租ノ納稅者ト云フ數ガソレ丈ヶ減ル譯デアリマセ

ヌガ、田畠ニ付テ免稅ヲ受ケル者ガ凡ソ六百

万人乃至七百万人ノ間ダラウト思ヒマス、

其正確ナ數字ヲ出シマスル材料ハアリマセヌ、唯大體ノ推算デアリマス、凡ソ六七百

万人ト思テ居リマス

○男爵藤村義朗君 次ニ此所得稅ニ付テ一

件伺テ置キタイノハ、今度ノ改正ノ爲ニ

合法的ノ脱稅ヲ目的トシテ立テル所謂同族會社ト云フモノノ取締ニ付テハ、適當ナル取

締法ヲ作ルト云フコトデアリマスガ、條文

中ニモアルダラウト思ヒマスガ、政府ノ御見込ハ、之ニ依テ果シテ有效ニ脱稅ヲ

取締ルコトガ出来ルカドウカ、大分是モ世

間デハ疑問トシテ居ルヤウデアリマス、一

體此同族會社トカ、保善會社トカ云フモノ

ハ、ドウ云フ範圍、如何ナル程度ノモノヲ

政府デハ御認メニナツテ、所謂脱稅ノ會社ト

云フヤウナコトニ御認メニナツテ居ラレル

カ、ドウカ其邊ニ付テ御意見ヲ伺テ置キ

タイ

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今ノ御質問ニ付キマシテハ、法人ノ留保所得ニ對スル累

ト出テ居リマスルモノハ其全部デアルカ

ト申シマスルト、勿論、其全部デハナイノ

マシテモ一万一千バカリノ法人ガアリマス

ル中ノ凡ソ六千近クト云フモノハ此規定ニ

クナルノデアリマス、東京局管内ダケニ見

同族會社ト申シテ居ルノデアリマス、而シ

テ同族會社ノ數ハ全國ニ於キマシテ相當多

人入カ若クハ其者ノ家族等ニ持タシテ居

ルト云フ風ナ場合ニ於キマシテ、其會社ヲ

持テ居リマスルヤウナ者ハ之ヲ同族會社

リマスル者ノ持テ居リマスル株式金額又

ノ一人又ハ其親族使用人等特殊ノ關係ガア

人ニシテ積立テルト云フ風ナモノダケニ對

來地租ニ付テハ法定地價ナルモノヲ課稅標準トシテ居ル、而シテ此法定地價ナルモノノ費用ヲ要スル、而モ各地方ノ狀況ハ時々刻々變化スルモノニアツテ、一度決メタ法定地價ナルモノハ餘り長カラズシテ、其間ニ均衡ヲ失スル故ニ法定地價ヲ標準トスル所ノ地租ト云フモノニ對シテハ、ドウシテモ負擔ノ公平ヲ期スルコトガ出來ナイ、依テ全國劃一二課スル所ノ地租ノ制度ヲ寧口止メテ、地方的ニ部分的ニシテ負擔ノ公平ヲ期スルコトヲナシ得ベキ地租移設ヲスルガ宜カラズ、ウト云フヤウナ議論モ、段々ト出テ居リマシテ、結局地租委讓ノ有力ナル根據ハ、其課稅標準ノ…地租ノ算定標準ガ非常ニ困難デアルト云フコトガ、其理由デアツタヤウニ存ズルノデアリマス、然ルニ…唯今私ハ此所デ地租委讓論ノコトヲ申スノデハナリ、イノデアリマスクレドモ、サウ云フ風ナコトガ從來論ゼラレテ居リマシタ場合ニ於テ、此法定地價ヲ避ケテ、之ヲ貨貸價格ニスルト云フ御趣旨ノ一ツモ、亦法定地價ノ決定ハ非常ニ困難デアルカラ、之ヲ貨貸價格ニ入レルコトニスル方ガ便宜デアラウ、斯ウ云フコトガ今回ノ御改正ノ一ツノ御趣旨カト考ヘラレルノデアリマスガ、現ニ貨貸料ヲ標準トシタル所ノ地租ハ、先年改正セラレ定地價ト云フヤウナモノヲ標準トスルノガ、非常ニ困難デアル、或ハ貨貸料ヲ標準トスルノガ容易デアルト云フノデハナクシテ、法定地價ヲ算出スル方法ノ如何ニアルノデニ法定地價ガ出來テ居リマシン、問題ハ法定地價ノ算定ノ如何ニアルノデアツテ、法定地價ト云フヤウナモノヲ標準トスルノガ、アラウト、私ハマア考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ明治初年ニ行ハレタル所ノ…

決定セラレタル所ノ地價ノ算出方法ハ、各地ニ對シテ非常ニ根本的ニ其收穫ヲ得ル維持スルナラバ、將來度ニ之ヲ改正スルニモ、何時モ非常ナ困難ニ遭遇スルノデアラウト思ヒマスケレドモ、其法定地價ノ方法ヲ止メテ、賃貸料ヲ標準トシテ、ソレヲ還元シテ出シタナラバ、其利潤ヲ標準トスルカ、單ニソレヲ例ヘバ百分ノ五デ還元スルトカ、百分ノ六デ還元スルトカ云フ方法依テ算出シタモノヲ標準トスルカノ問題デアッテ、決シテ性質上ノ差デハナイト考ヘテ居リマス、ソレハマア議論ノナイ問題デ、無論ドナタモ御議論ノナイモノト存ジマスガ、サウ致シマスト、過去ニ於テ既ニ部分實行イタシマシタ所ノ賃貸料ヲ基礎トシテ算出シタル法定地價ノ決定、即チ字地ノ改正ト云フコトニ、既ニ多數ノ日子ト、多額ノ費用ヲ費シタ云フヤウニ、唯今私ハ詳シイコトヲ記憶シテ居リマセヌガ、サウ云フ風ニ感ジテ居ルノデアリマス、從テ若ん今回御採用ニナルベキ所ノ此法律案が出来マセネバ、ドウ云フ方法デオヤリニナルカ分リマセヌガ、餘程何カ新規ナル名案ノアラザル限りハ、過去ノ経験カラ申シマスルレバ、矢張リ賃貸料ノ決定ト雖モ、相當ニ多額ノ金ヲ要シ、多數ノ日子ヲ要スルノデハナイカト存ズルノデアリマス、其點ニ付キマシテ何カ昨日他ノ方ノ御質問ガアリマスガ、幸ニ此場合ニ施行サレムトスルノ賃貸料ノ決定、即チ賃貸價格ノ決定ナルシテ、既ニ政府ニ於キマシテモ、先年準備說明ガアツタカノヤウニ承知イタシタノデ的調査ヲサレタモノガアルカラシテ、今回アリマスガ、幸ニ此場合ニ施行サレムトス

ルモノハ、比較的近イ時期ニ於テ準備調査ヲサレタモノガアルカラ容易ニ出來ルカモ五年毎、若クハ十年毎ニ、此地租ノ最モ缺點トシテ居ル所ノ課税標準ノ公正ヲ期スル爲ニ、經濟界ノ變動ニ伴フ全國ノ移動ヲ常ニ修正シテ參ルト云フ便宜を得ル爲ニ、果シテ此貸料サヘ捉ヘテ置クナラバ、非常ニ：非常ニト言フト、語弊ガアルカモ知レマセヌガ、從來一般ニ考ヘラレテ居タルモノヨリモ、非常ニ今度ノハ極ク手輕ルニ、餘り多額ノ費用ヲ費サズシテ、容易ニ此實行が出來ルト云フコトニナルコトヲ期シ得ルカ、ドウカ、又將來ニ亘テ度々ヤル場合ニサウ云フコトカ考ヘラレルモノデアルカ、ドウカ、此點ヲ多少私ハ疑フ有ツテ居リマスノデ、ソレニ付テノ御見込ヲ伺ヒタリト存ジマス

ル土地ニ適用スルモノトシテ、標準貨貸價格ヲ調べタノデアリマス、三年カヽリマシテソレガ出來上^タテ、其書類ハ今日全國稅務署ニ總テ保存イタシテ居リマス、其基本調査ガアリマスカラ、此度凡ソ一千万近クノ金ヲ以テ一ヶ月ノ日子ヲ要シマスレバ、隨分相當ナル大事業デアリマスケレドモ、大體其基礎ガアルニ依^テ、其基礎ニ基^テ、更ニ之ヲ再調イタシ、再調スルニ付テモ狀況ノ異ナ^タ所ダケ^ヲ變^ヘテ行クト云フ風ナ仕事ヲスレバ、將來地租課稅標準タル貨貸價格ノ調査ヲスルコトガ出來ルデアラウト思ヒマス、無論其時ニナリマスレバ、交通ノ狀況ノ變化モアリマス、經濟狀態ノ變化モアリマス、用水或ハ排水、種々狀況ノ變化モアリマセウ、其所ヲ全部直サナケレバナラヌ、變化ノナイ所モ一應ハ見ナケレバナラヌコトハ勿論デアリマス、一度見タコトモアリマスカラ、ソレニ依^テテ全國ニ亘^ルテ努力イタシマスレバ、定メラレタ金額ノ範圍内ニ於テ、豫定セラレタル所ノ期間内ニ於テ、十分出來得ルモノトル思ヒマス、而シテ之ヲ貨貸價格ニ何故スルカ、法定地價ニシテモ同ジコトデハナイカ、斯ウ云フノガ御説ノ中ニ一部アッタヤウデアリマス、是ハ法定地價ト申サレル其意味ニ依^テ、貨貸價格ト言フテモ宜シ、法定地價ト言^フテモ宜カラウト思ヒマス、例ニレバ、是ハ直チニ出テ來ルモノデアリマス、サウシマスルト、貨貸價格ト法定地價ト言^フテモ事柄ハ同ジコトニナリマス、唯貨貸價格ヲ十倍若クハ十五倍シタノガ法定地價ト云フツツノ假定デアリマス、サウスレバ法

定地價ト申シテモ、賃貸價格ト申シテモ、別ニ異ナル所ハアリマセヌガ、唯是マデ現在ノ法定地價ヲ全國的ニ修正スルト云フノハ困難デアルト我ミガ申シテ居リマシタノハ、其意味ノ法定地價デハナクシテ、明治初年ニ地相改正ヲヤリマシタ其時ノ地價ヲヲ今日之ヲ繰返サウト云フノガ、所謂地價修正ノ事業ト、斯ウ申シテ居リマス、其意味ニ於ケル法定地價ノ修正ト申シマスレバ、土地ノ第一ニ收穫ト云フモノヲ調ベテ、其收穫ニ對シテハ費用ガカヽル、其費用ヲ控除シテ、ソレニ金利ヲ加ヘ、又米代ヲ計算イタシテ大分面倒ナ計算ヲ以テ、之ヲヤラナケレバナリマセヌカラ、士カナカドウモ容易ナ事業デハアリマセヌ、此度ハサウ云フ内容的調査ヲ避ケマシテ、形ニ現ハレタ所ノ賃貸價格、ソレヲ標準ニシテ調査ヲ致シマスカラ、法定地價修正ト云フ事業ト違ツテ、比較的其仕事ガ容易デアリ實行的デアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、而シト云フ問題デアリマス、是ハ確定的ニハ申テ其一遍調ヘタ賃貸價格ハ何年間据置クカハ十年据置クト云フコトニ致シマスレバ、サウ云フ方法ニ依ツテ五年先、或八十年先ニ於テ再ビ之ヲ調査スル、其調査スル時ニモ五年前若クハ十年前ニ於テ調べマシタ基礎ガ出來テ居リマスカラ、其基礎ニ向ツテ變化ノアヽダケ修正ヲ加ヘンバ事ガ足リルモノト思ツテ居リマス、ソレカラ今日ノ賃貸價格ヲ調べマスルニハ、唯今主税局長ノ申サレタ所ノ賃貸料其物デアリマスケレドモ、ソレガ現在ノ賃貸料ヲ其儘取ツテ以テ、是カラ五年先、十年先マデ使ハウト云フノデハアリマセヌ、既往數年間ニ於ケル平均ヲトリ、之ヲ賃貸價格ト致シテ、ソレ

マヌル所ハ唯今大藏大臣ガ御述ベニナリマ
シタ通り、過去ノ數年間、大體五年位ト
思テ居リマスガ、五年間位ハ或ル區域ノ
中ニ標準トナル所ノ土地ニ付テ、實際ノ負
貸價格ト云フモノヲ過去五年間ニ溯リマシ
テ調べマシタノヲ大體標準ニ致スノデアリ
マス、其標準ニ致シマスルニ色ニマダ細
カニコトモ申上ゲレバ色ニノコトモアリマ
スルガ、大體實績ニ依ルノデアリマスル
ガ、其實績ニ特殊ノ事情ガアリマスレバ勿
論ソレモ斟酌イタシテ、矢張リ標準ノ貨貸
價格ト云フモノヲ定メルノデアリマス、ソ
レガ過去五年間位溯リテ平均ヲ取りマスレ
バ、將來ニ向クテズト其儘据置イテ宜シイ
ト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマスガ、是モ
マダ決定イタサナイノデアリマスガ、何レ
改正ノ地租ハ即チ十七年度カラ實行スルコ
トニ致シマスト致シマスレバ、十七年度カラ
實行スベキ地租條例ハ、改正サレマシタ
貨貸價格ヲ課稅標準ト致シタ新地租法ガ出
ルコトト考ヘマス、其際ニ於テ細カニコト
ハ決定サレルコトト考ヘテ居リマス、其際
ニ於テハ多少ノ貨貸價格ガ直リマスル結果
トシテ、今日ノ地價ガ或ル地方的ニ或ハ其
地方ニ於テモ非常ニ不權衡ノアルト云フノ
ハ是ハ事實デアリマスカラ、ソレガ直サレ
マスル結果トシテ、非常ニ負擔ガ激増スル
ト云フ風ナモノニ付テハ、或ハ多少緩和ノ
手段ヲ採ラナケレバナラヌノデヤナイカト
云フ考ヲ持シテ參リマス、其緩和ノ手段ヲ採
ル場合ニ於テ、想像サレマスル方法トシテ
ハ、色ニアラウト思フノデアリマス、其中
ノ一ツトシテ唯今御詫ニナリマシタヤウ
ナ、何年間ノ中ニ自然戻ルヤウナ、一時ニ
調査イタシタ貨貸價格其物ニ依ラズシテ、
何年間ニ其儘ニ達スルヤウニ漸次増シテ行
クト云フモノモ一ツノ方法デアラウト思ヒ

マス、或ハ何年間ニ現在ノ地租ノ何倍カヲ
据置クト云フコトモ一ツノ方法カト思ヒマ
ス、其場合ニ於テハ唯今御話ニナリマシタ
所ノ漸次増スト云フ方法モ一ツノ方法トシ
テ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレハ唯今
申上ダマシタ所ノ新地租法ヲ設ケル時ノ規
定ニ相成ルノデアリマス、未ダ勿論何等決
定シタ所モナイノデアリマス、大體ト致シ
マシテハ、決定シマシタ負賃價格ヲ其儘ニ
今度更ニ改正イタシマスマデハ据置クト云
フコトガ大體ノ方針ニ相成、テ居ルノデア
リマス

○西野元君 尚ホ先刻御詰ゴザイマシタ、
自作農ノ地租免除ノコトニ付キマシテ、不
審ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、段々御説明
ニ依リマシテ、大藏大臣モ既ニ、物稅タル
地租ノ免稅點ヲ置クト云フコトハ租稅ノ理
論カラ正シイトハ思ハヌ、他ノ見地カラ小
農ヲ保護シ、農村ノ振興ヲ期スルト云フ政
策ノ上カラ已ムヲ得ナイト云フ御説明モア
リマシタノデ、此點ハ租稅ノ理論ト他ノ政
策トノ衝突シテ居ル點デアリマスカラ、何
レカ適當ノ所ニ見解ヲ求ムルヨリ外ニハ仕
様ガナイコトト考ヘルノデアリマスガ、既
ニ大臣御自身御述ベニナリマシタ通り、其
點カラ申シマシテモ、廣ク全國ニ亘テ其
人ガ所有シテ居ル田畠ヲ通算シテ、之ヲ決
定スルコトガ適當デアルト云フマデ御述ベ
ニナリマシタ位デアリマスカラ、其趣旨ヲ
通シテ参リマスト云フト、其人間ノ土地ト
シテノ財産ダケヲ見テ、ソレヲ以テ保護ス
ルヤ否ヤト云フコトヲ分ケルト云フコト
ハ、餘リニ機械的デハナカラウカト考ヘル
ノデアリマスガ、此點ハ既ニ大體ニ於テ御
控ヘマスガ、原案ノ儘デハ何分其兩者ノ調

コトガ甚ダ薄キヤウナ感ガアルノデアリマス、田畠ダケヲ此人の分
ス、唯單ニ自作ト云フコトダケヲ此人の分
子ト見テ居ルノデアリマシテ、田畠ダケヲ
二百圓ノ上ヲ有シテ居ル者ト二百圓以下ヲ
有シテ居ル者トノ間ニ於テ、必シモ貧富ノ
區別モ無論出來ナイト考ヘラレルノデアリ
マスガ、自作農ダケニ付テト云フコトデハ、
更ニ其者ノ經濟的地位ガ幾分區分サレテ居
ルニ過ギナイト思フノデアリマス、命令ノ
定ムル所ニ依リ云々ト云フコトガアリマス
カラ、何レドウ云フモノヲ自作農ト見做スト
云フヤウナコトマデ參ルカモ知レマセヌガ
既ニ自作農ト云フ言葉ヲ避ケラレテ、反面ヨ
リ小作ニ付シタル土地ト書キマシタ以ト
ハ、命令ノ定ムル所ニ依ッテ、……以下ノモ
ノハ小作ト看做スト云フコトモ無論ナイノ
デアリマスカラ、小作ニ付セズシテ自分デ
作リテ居ル、自分ノ經濟ニ於テ作リテ居ルナ
ラバ、如何ニ富裕ナル人ガ他ノ勞働者ヲ
雇ツテ作リマシテモ、先刻未延君ガ御述ベ
シナリマシタ所謂利用ノ土地デアル以ト
デナイカト考ヘラレルノデアリマス、サウ
云フモノハ全國ニ果シテ多數ノモノガアル
カドウカ知リマセヌケレドモ、別莊地トカ
何トカ云フモノデアッタラバ、或ハ其人ノ
居住シテ居ラヌ所デアルト云フコトガ有ル
カモ知レマセヌケレドモ、隨分此市外地ニ
住ムヤウナコトガ多クナレバ、其住宅附近
ニ幾分ノ田畠ヲ持ツテソレヲ利用ニ供スル
ト云フコトハアリ得ルコトデアルト存ジマ
ス、其人ノ資產狀態ガ如何様デアッテモ、土地
ノ有シテ居リマス價格ガ少イト云フヤウナ
コトデ免稅スルト云フコトハ、規定トシテ

如何ニモ其點ノ調和ヲ得テ居ラヌヤウニ思
フノデアリマス、或ハドウ云フ方法ガ宜イ
カ、私ハ名案ハアリマセヌガ、例ヘバ考ヘ
テ見マシテモ、所得稅ヲ納メルト云フヤ
ウナガ、尙ホ此田畠ノ免稅ヲ受ケルト云
フコトハ、他ノ一般ノ稅制ノ上カラ見マシ
テモ、穩當ヲ缺クヤウナ感モ致スノデアリ
マス、命令ノ定ムル所ニ依ルト云フ規定ヲ
以チマシテ、ソレ等ノ點マデ幾分制限ヲ
加ヘルコトガ出來ル餘地ガアルノデアリマ
スカ、或ハモウ既ニ法律ガ極マツテ居ル以
上ハ、機械的ニドンナモノデモ免稅シナケ
レバナラヌ、命令ノ定ムル所ニ依リ、唯單
ニ手續デアルトカ、或ハ申告ヲ要スルトカ、
手續上ノ問題デアリマスカ、其點ヲチヨット
伺^シテ置キタイト思ヒマス

此法律案ガ法律トシテ行ハレマシテ實行サ
レタ其曉ノコトヲ唯今カラ推測シテ見マス
ト云フト、自分ノ住居シテ居ル所ノ市町村、
並ニソレト隣接シテ居ル所ノ市町村ニ於
テ、田畠ノ地價、百圓未満ノモノヲ有^ンテ
居^ツテ、而モソレヲ自分デ耕シテ居ル、無論
ソレハ小作ノ必要デナイ場合デアリマスカ
ラ、雇人ニヤラシテ居ル場合モアラウト思
ヒマスガ、大體サウ云フ階級ノ人ニデアル
ト云フコトハ、サウ大シタ資産家ガサウ云
フコトヲシア居ルト云フコトハ、事實ニ於
テ餘リ澤山アラウトハ想像シテ居リマセ
ヌ、無論絶無トハ申シマセヌ、例外ハアル
デアリマセウガ、大體小農タル自農ノ如
キガ多數デアル、若シ是ガ遠方デ土地ヲ有^ン
テ居ル者、自分ノ隣接ニ於テハ宏大ナ邸宅
ヲ構^ヘテ、他ノ財產ヲ有^ツテ居ル、サウシテ
ド^ツカノ餘所ノ村デ土地ヲ有^ツテ、ソレヲ小
作ニ付シテ居ルト云フヤウナモノヲ數ヘマ
スルト、ソレハ澤山アルデアリマセウガ、
住所地並ニ隣接ノ所デ自作ラシテ居^ツテ、
而モソレガ二百圓未満トアリマスカラシ
テ、大體實際問題トシテハサウ御心配ニナ
ルヤウナコトハ餘り多ク起ルマイト思^タ
ノデアリマス、無論法律上ハ起リマスガ、
實際上ニ於テ斯^ウ云フコトハアルマイト思
ヒマス、唯今假ニ御述ベニナリマシタ第三
種ノ所得稅ヲ納ムルモノ云々ト云フコトニ
テモ考慮イタシマシタ、考慮イタシマシ
タガ、是ニハ大分缺點ガアルト思ヒマシテ、
ソレヲ省イタ譯デアリマスガ、第一ニハ御
承知ノ通り、第三種ノ所得ヲ納ムルモノト
書キマシタ所デ、決定シタル金額ト最後ニ
確定シタル金額トハ、更定處分關係ニ依
テ算ヒガ出テ來マス、其更定處分ノ結果、
損益シタ場合ニ於テ一々ヤリ直スト云フコ
トハ非常ニ煩雜ナ手數ヲ要スルト云フヤウ

ナ點モアリマスルシ、ソレカラ所得稅ノ免
稅點ハ今度千二百圓ト改メル結果ニナル
ガ、大體ニ於テ今日マデノ田畠ノ純益、小
作ニ付シタル土地ノ純益デアリマス、其純
益ヲ全國ノ調査ヲシテ見ルト、全國ノ平均
ガ約地價百圓ニ付テ凡ソ百圓ノ純益ガアル
ト云フ計算カ出テ居リマス、サウ致シマス
ト、假リニ第三種ノ所得稅ヲ納ムル者ハ免
稅シナイト云フコトニスルト、所得金額ハ
千二百圓デアリマスルカラ、免稅點ガ地價
千二百圓ノ田畠ヲ有テ居ルト云フコトニ
丁度當ルノデアリマス、其標準ハ餘り高過
ギル、斯ウ云フ嫌ヒモアリマス、然ラバ其
所得稅ヲ納ムル者ト云フ區別ヲ取ルコトヲ
止メテ、其代リニ何カ他ニ適當ナル方法ガ
アルヤ否ヤト云フコトニナルト、チヨット具
體的ニ明確ナル所ノ區別ヲ取ル標準ガ發見
サレナカッタノデアリマス、ソレデ已ムコト
ヲ得ズ人の分子ハ少イト云フ非難モアル
ガ、自作地ニ限ル、小作地ハ除ク、ト云フ
コトヲ以テ満足シタ譯デアリマス

ニ對シテ無論小作ニハ付シテ居ラヌ、雇人ニ自家用ノモノヲ作ラシテ居ル、ソレデモ上免稅ニナルベキモノノデアリテ、又稅務官吏モ免稅シナケレバナラヌ、本人ガ納メルト言シテモ取ル譯ニ行カヌモノニアラウトノデハナカラウカト考ヘルノデアリマシテ、土地ダケヲ持テ居ラテ、其他ニ何等ノ財產ノモノハ如何ニモ租稅ノ觀念ニ反シ、又政府ノ自作農保護ト云フ御趣旨ニモ副ハヌモメルト云フヤウナ百姓ハ、無論二百圓カ三百圓ノ地價ノモノデハ無イト云フコトニナリマスルト思ヒマスルガ、田畠ヲ持テ居ル者ハ必シモ小農ニハ限ラヌノデアリマス、其他ニ立派ニ資産ヲ持テ居ル、有價證券カ何カラ持テ居ル者モ幾ラデモ田畠ヲ持チ得ルノデアリマスカラ、是等ヲ總て免稅スル必要モナイヤウニ考ヘテ居リマス、今其可否ヲ茲ニ論ズル場合デモナイノデアリマスケレドモ、先刻チヨット伺ヒマシタ命令ノ定ムル範圍ハドノ位ノ程度ニ定メ得ルモノデアリマスカ、無論的確ナ範圍ヲ伺フコトハ難カシイト存ジマスケレドモ、大體ドウ云フコトヲ御豫定ニナッテ居リマスカ、其點ヲ伺フテ置キタイト思ヒマス
○國務大臣(濱口雄幸君) 是ハ「命令ノ定ムル」ト云フコトヲ書イテアリマスノハ、種々アラウト思ヒマスケレドモ、今日想像ニシテ居リマスル所ノ主タル目的ハ、申告主義ヲ採ンテ居リマス、唯今ノ御話ノ如ク或ハ富豪ガ隣接地ニ畑ヲ持テ居ラテ、雇人自作デアルカ、小作デアルカ、而シテ免稅ガ耕シテ居ル、ソレハ免稅シナケレバナラム」と云フヤウナ御話ガアリマシタが、是ハスト云フヤウナ御話ガアリマシタが、是ハ

ヲ受クベキモノデアルカ否ヤト云フコトハ、本人ノ申告ニ依テ之ヲ決シタイ、斯ウ云フ之ヲ書キマスナラバ、法律デ掲グベキモノデ、命令ニ規定スベキモノデハナイト思テ居リマス、主モニ申告ノコトヲ豫定シテ居リマスメタイ、サウ云フコトヲ豫定シテ居リマス○西野元君 唯今ノ命令ノコトニ付キマシテ、主ニ申告主義ヲ御採用ニナルト云フ御方針ト承ハリマシテ、私ハ非常ニ満足イタシタノデアリマス、或ハ申告主義ヲ御採用ニナラヌデハナイカト云フ懸念モ、私ハ多少持テ居リマシタノデ、私ハ是非此問題ニ付キマシテハ、申告主義ヲ御採用ニナリマシテ、富豪ガ自ラ進ンデ自作農免除ノ爲ニ政府ノ設ケラタ法律ニ均霑スルヤウナ・均霑セザルヲ得ナイヤウナ機會ニナラナイヤウニ願ヒタイト希望イタシマス、尙ホモウ一遍御面倒デアリマスガ伺テ置キタイノデアリマスガ、先刻大藏大臣ノ御説明デ、私ハ初メテ承知シタノデアリマスガ、大正十五年ノ當初ノ増額トシテ二千万圓ヲ御計上ニナリマシタ國庫負擔全ノ基礎ヲ申ニ、稅制整理ニ依テ市町村ノ受ケル交付金ノ減額ノ補填、是等ノモノニ充ツベキ金額トシテ是ハ正確ニ御決マリニナッテ居ルノデハアリマセヌガ、御豫定ニナッテ居ルモノガアルヤウニ承リマシタガ、其一千萬圓ノ増額ト云フモノハ、是等ノ費途ニ充テルモノトシテ御豫定ニナッテ居ルノデアリマセウカ、無論是ハ市町村義務教育費トシテ市町村ノ負擔スルモノヲ國庫カラ補助スルノデナモノデアリマスガ、所謂學級増加ノ爲ノ費用デアルトカ、教員ノ増給デアルトカ、

サウ云フコトノ爲ニ地方ノ負擔シテ居ルモ
ノヲ輕減スルト云フ趣旨デアルベキ筈ト思
ヒマスノデアリマスガ、其中ニ偶然ニモ稅
制整理ノ結果トシテ地方ノ失フ所ノ財源ノ
補填ニ充ツベキモノヲ含ンデ居ルト云フコ
トハ、チョット私ハ意外ニ感ジマシタノデ、
一應伺テ置キタイト思ヒマス

○政府委員(田中廣太郎君) 唯今大藏大臣
カラ御話ガゴザイマシタ國稅徵收交付金ノ
減收ヲ、此義務教育費國庫下渡金ヲ以テ自
然補填スルヤウニナルト思フト云フコト
ハ、若シ之ヲ補填イタサナイデ置キマスル
ナラバ、自然市町村等ニ於キマシテハ、國
稅整理ノ結果自然歳入ニ減少ヲ見マシテ、
戶數割附加稅 又ハ家屋稅附加稅等ニ於テ
増徵スルコトニナリマスコト相成リマス
ノデゴザイマスカラシテ、其戶數割家屋稅
ノ附加稅ノ消極的輕減ト云フヤウナ意味ニ
於キマシテ、國稅徵收交付金ノ減收ノ補填
ニ充テルト云フ趣旨デ御話ニナッタモノト
承知シテ店リマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 是ハ唯今申シタ
通リデアリマスガ、先刻モ申上ゲマシタ通
リ未ダ確定シテ居リマセヌ、大體ノ腹案デ
ゴザイマスカラ、左様ニ御承知ヲ願ヒマス
辯ト關聯シタコトアリマスガ、大藏大臣
ノ御説明中ニ此度ノ稅制ノ整理ハ社會政策
ニ重キヲ置クト云フコトデアリマスケレド
モ、今ノ二百圓未滿ノ免租ノ所ニハ其點ガ
加味サレテ居ラヌヤウニ見エマスガ、自作
農獎勵ノ爲メト云フケレドモ、普通ノ小農
デ、例ヘバ子供デアルトカ病人デアルトカ
ノ爲ニ已ムヲ得ズ土地ヲ他人ニ耕シテ貰フ
ルト云フコトハ甚ダ々々社會政策ノ上カラ
言ヘバ最モ憐ムベキ狀態デアルト思フ、サ

○國務大臣(濱口雄幸君) 地價二百圓未満ノ田畠ヲ持テ居リマスル者ガ、自分ノ家族ガ至ッテ少イトカ、或ハ病人ガアルトカ、男ノ手ガ少イト云フ理由ヲ以テ、小作ニ付シテ居ル者ガアツタ場合ニ於キマシテハ、ソレハ如何ニモ御説ノ通り小作ニ付シテ居ル故ヲ以テ免稅サレヌト云フコトニナリマスケレドモ、左様ナ不幸ナル家族デアリマスカラバ、別ニ小作ニ付シマセヌデモ、雇人ヲシテ之ヲ耕作セシムルト云フコトモ出来ル場合ガアリマスカラ、例ヘバ自カラ自分ノ手ニ依ツテ耕作イタシマセヌデモ、人ヲ雇フテヤリマスレバ小作ニ付シテナイト云フノデ、自作ト云フ方デ免稅ニナルノデアリマスカラ、其弊害ハ餘リ多クアルマイト思ヒマス、若モ小作ニ付シテ居リマスレバ是ハ此規定ノ範圍内デアリマスガ、小作ニ付シマセヌデモ、サウ云フ場合ニハ宣カラウト思ヒマス

○男爵阪谷芳郎君併シ、ソレハ若シ必要ヲ認メラレレバ譯ハナイコトデス修正ハ大システムツカシイ修正デヤナイヤウニ思フレカラ今一ツ伺ヒタイノハ、賃貸價格ニ依テ地租ヲ取ルト云フコトガ劃一二ナツテ居ト云フコトハ、ドンナモノデアリマスカ、ト云フコトハ、ドンナモノデアリマスカ、賃貸價格デ取ルト云フコトニナレバ、無論、其地租ノ總額ハ殖工又コトグラウト思ヒマスガ、總額ガ殖エヌニシテモ、二百圓未滿ヲ免租スルトカ、地租ノ課稅ノ價格ヲ百分ノ一ニスルトカ云フヤウナコトハ、皆變テシマフデセウ、變テシマフトナルト、矢張リ納メル者ニハ大變ナ計算ノ上ニ狂ラ生ズルコトハ免カレヌ、ソレデ、ソレガマア十年モ先キデヤルト云フナレバ免ニ角モ、既ニ本期議會三出シテ近々ヤルト云フノデアレバ、此地租條例ハ寧ロ現在ノ儘ニシテ置イテ、其新タナル賃貸價格ト云フモノガ決マッテ、サウシテ稅率カラ何カラ悉ク變ルノデスカラ、其變タ狀況ノ下ニ、更ニ考慮スルト云フ方ガ宜イヤウニ思フノデスガ、ソレハドウ云フ譯デ地租條例ヲ急ガニヤナラヌ……、改正ヲ急グト云フコトハ、ドウ云フ意味デアリマスカ

減收ガ生ジマスカラ、二年後ニ貸貸價格ニ
依ツテ免稅點ヲ決メス場合ニ於テモ、ソ
レニ依リ千二百万圓ニ減收ガ生スル、即チ
地租ノ總額ガ同ジャウニナルト云フノヲ標
準トシテ、免稅點ノ範圍ヲ決メル積リデア
リマスガ大體ニ於テ、サウ移動ハ無イト思
テ居リマス、唯、其境ニ位スル所ノ土地所
有者デアリマシテハ、舊法ニ依レバ免稅額
ニアツタガ、賃貸價格ニ依ル免稅點ヲ得ル
コトハ出來ナイ、又稅ヲ取ラレルコトニナ
ル、ガ又其反對ノ場合モ起り得ルト云フコ
トモアルト思フノデアリマス、併シ大體ニ
於テ狂ハ無イト考ヘマス、免ニ角、自作農
維持創立ヲ獎勵スルト云フコトハ目下ノ急
務、又農村ノ振興、農村ニ對スル社會政策
ヲ實行スルト云フコトモ、緊急ノ是ハ政策
デアルト考ヘマスカラ、二年後ヲ待タズシ
テ今日ヨリ中間のノ計畫方法トシテ此制度
ヲ設ケテ、免稅點ヲ設定スルト云フコトタ
必需要アラウト考ヘマシタカラ、ココニ法
律案ヲ出シタ譯デアリマス、二年後ニ於テ
貨貸價格ニ依ツテヤル場合ニ於テモ、大體
免稅點ヲ得ルコトハ變リハ無イノデ、唯、
其境ニ位スルノハ多少ノ移動ガアラウト思
ヒマス

スルノハ四百圓ハ免除スル、四百圓以上ノ純益ニ課スルトスレバ、之ヲ假リニ申告稅其通りデアルト云フコトヲ定メルト云フコトモ、ナカニムツカシイノデアリマス、此爭ガ私ハ非常ナ面倒ナコト考ヘマス、何トカ是ハ所謂純益査定ノ方法ニ付テ調査委員ト云フヤウナ者ニ委セテ、サウシテ其申告ヲ調査サセテ、ソレデ決定シタモノニ對シテハ、收稅官吏モ之ヲ認容シテヤルト云フヤウナ途デモ開カレテ居リマスレバ、格別デアリマスクレドモ、今日、四百圓位ノ純益ヲ得ルト云フノハ非常ナ小商人、所ガ今日、恐ラクハ都市ニ於テ小賣商人ナドハ皆儲ケハナイ、殆ド利益ハ無イト云フヨトヲ皆申シテ居リマス、又サウ云フ傾ガベル、即チ「デパートメント・ストア」ミタイカモノガ澤山是カラ出來テ來マスルデ、小サナ小賣商人ガニ相当ナ純益ト書イテアリマスカラ、純益ト云フノハ私ハ甚ダムツカシイ定義ニナリハシナイカト考ヘマスガ、ドウ云フモノヲ純益ト稱スルカ、純益四百圓ト定メテ、サウシテ、ソレニ課稅セルト云フコトハ、餘ホ方面倒ナ事ヲ起惹シマシテ、今日、所謂小商工業者ヲ保護スルル、是ガ國ノ中堅デアルカラ、是ハドウシテモ相當ニ保護シテ行カナケレバナラヌ、所謂地主ノ二百圓以下ノ地租ヲ免除スルト同ジク、或ハ自作農ヲ設定シテヤルト同ジクニ、此小商工業者ヲ保護シテ、相當ニ業體ニ安ンジテヤラセヤウト云フコトノ目的ヲ達スルノニハ、非常ニムツカシイ是ハ規定ノヤウニ考ヘマスルガ、何トカ方法が案出サレテアルノデスカ、此點ニ於キマシテハ非常ニ心配ヲ致シテ居ルヤウニ見エマス、ソレカラ、モウ一ソ私ハ御尋ヲ申シテ置キ

マスルノハ、此營業稅ト云フモノヲ收益稅ニ御改メニナリマシタノハ、大ヘン結構アリマスルケレドモ、一體、是マデハ此營業稅ハ惡稅アルカラ、之ヲ全廢シテ吳レト云フヤウナ議論ヲ以テ、皆、商工業者ハヤツテ居ツタノデアリマス、即チ其點ハ收益稅ニナツタカラ其目的ハ實ハ達シタノデ、今迄ハ外形標準ニ依リ取ラレテ居ツタカラ、サウ云フ議論モアツタ、斯ウ云フコトデアリマスケレドモ、此度ノ收益稅ニ依ツテ寧口負擔ハ重クナツタ、大ヘン重クナツタ、斯ウ云フコトハ誰レモ今日唱ヘテ居リマス、又商業會議所ノ調査ニ依ツテ見マスト、重クナツタ數字ガ出テ居リマス、所ガ、政府ガ千二百萬圓ハ昨年ニ於テ減ジテ居ル、今度ハ四百萬圓位ハ減ジテ一千二百萬圓位ト輕減ヲシテヤツテ居ル、斯ウ云フ御詰デアリマスケレドモ、ソレガ事實ハサウジヤナイ、ナイトシマスレバ、是ハナカナカ非常ニ今ノ商工業者ナドハ苦痛ヲ忍ンデ今マデ來テ居ツタノデスカラ、此度ノ改正ニ多少タリトモ減稅ヲサレルモノト考ヘテ居ツタ人達ハ非常ニ失望ヲスル譯デアリマス、ソレデ三「コンマ」六、「コンマ」八ト云フノガ個人ノ稅率ニナツテ居リマスガ、是ハ矢張リ今ヨリハ減スニハ是レ位ノ率デ宜イト云フコトデヤツテアリマスレバ、若シ之ガ爲ニ事實ニ増大ヲサルト云フ場合ニ於テハ、政府ハ近キ將來、來年デモ、來來年デモ分々タ場合ニ於テハ、此法律ヲ一遍斯ウ決メテ置イテモ下ダテヤル、或ハ三「コンマ」六「コンマ」ニシテヤル、決シテ增稅スル見込デナイノデアル、其時ニ於テハ今ノ算定ノ上ニハ違ヒガアルケレドモ、決シテ今ノ營業稅ニ依ツテ増稅ヲ圖ル目的デナイカラ下ダテヤルト云フヤウナ御覺悟ガアリマスルカ、ソレガナケレバ甚ダ失望シ

ナツテ居ル、營業稅全體ニ付テモ殖エル計算ニナル、十四年度ノ下半期ノ決算ニ付テヤルト、營業稅全體ニ付テモ殖エルヤウニリ、是マデハ利益ノ無イ人モ稅ヲ掛ケテ居タガ、其利益ノナイ者ハ免稅ニナル、今度稅法ヲ苟モ決メル以上ハソレマデモアトノ者ニ背負ハセルト云フコトハ不公平ニナル、今日マデ既ニ營業稅ガ重イト云フ以上ハ、政府カ何デモ今マデアッタ營業稅ノ總額ダケハ是非取ルト云フ御意思デ御決メニナルナラバ、是ハ輕減ニナラナイト云フコトニナツテ來ルダラウト思フ、是ハ一ツ尙ホ大藏大臣ニ於テモ、此計算ヲ適切ニ、モウ一遍御調べニナツテ、果シテ藤山君ノ言ハレル如クニ、御思ヒナラバ、今之ヲ修正ナサルト云フコトガ私ハ宜カラウト思フ、ソレニ付テハ大藏大臣ハ如何ニ考ヘラレルカ、又今一ツハ此検査ノ方デスガ、第二十五條ト云フモノヲ非常ニ矢張リ簡單ニ書イテアルカラ是ハ苦情ガ起ルノダラウト思フ、是ハドウシテモ何トカシナケレバ、當分此儘デハ私ハ矢張リ苦情ノ種ハ盡キヌト思フノデアリマス、是ニハ私ハ相當ニ但書カ何カノ修正ヲ加ヘテ、稅務官吏ガ直接ニ直グ店頭ヘ行フテ検査ガ出來ルヤウニナツテ居マスカラ、其検査ヲ必要ト認メル場合ニハ、豫メ豫告ヲシテ置イテ、稅務署長ノ承認ヲ經テヤルト云フヤウナ、此程度位ノコトハ加ヘナケレバイケナイト思フ、餘リ此二十五條ノ書方が簡單ニシテ稅務官吏ノ權限ヲ無限ニ大キク見セテアルト云フコトハドウカト思フノデス、是等ニ付テモ、ソレ等ノ事シテハ、大分精密ナ調査ヲ致シマシタ上ニ○國務大臣(濱口雄幸君)此稅率ニ付キマ

四百數十方ノ減稅ニナルト云フコトヲ規メ
マシテ、個人ニ付テハ二「コンマ」八、法人
相當ノ、全體トシテハ輕減ニナル、總額ハ
四百數十方ノ輕減ニナル、商業會議所ノ調
査デ調べマシテ、ソレニ對シテ當局ノ調べ
マシタモノハ、確カ御示シ致シタ筈ト思
テ居リマスガ、書面デハ申上ゲマセヌデシ
タカ

○委員長(子爵前田利定君) イエ、マダ……

○國務大臣(濱口雄幸君) ソレデハ出來マ
シタラ早速差上ゲマス、又唯今府政委員會
ラモ説明イタサセルコトニ致シマス、ソレ
カラ二十五條ノコトアリマスガ、帳簿物
件ノ検査ニ付キマシテハ政府ニ於キマシテ
モ從前カラ能ク戒メマシテ餘り低イ所ノ官
吏ハ帳簿物件ノ検査ニハ當ラシメナイト云
フコトニシテ居リマス、大體ニ於テ稅務署
ノ課長級ノ位ノ所ニ其實地ノ調査ヲヤル場
合ニハヤツテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居
リマスカラ、濫用ノ弊ハ無イト思テ居リ
マスケレドモ、此點ニ付キマシテハ將來ニ
於テモ篤ト濫用ノ弊ナカラシムルヤウナ十
分ナル訓戒ヲ致ス積リデアリマス、若シ其
検査ヲ豫告スルト云フコトデアリマスト云
フト、是ハ検査ノ效果ガ無クナルコトデア
リマスカラ、是ハ豫告ヲスルト云フコトダケハ、
少シ困難ダラウト思テ居リマスガ、免モ
角、此検査ヲシ得ルト云フ職權ダケヲ稅務
官吏ニ與ヘテ置クト云フコトダケハ、何處
マデモ維持シテ置キタイト思ヒマス
○男爵阪谷芳郎君 尚ホ何レ詳シイ質問
ヲ御繼續ニナルト思ヒマスカラ、其場合ニ
二……

先日御話シ申上ダマシタノデゴザイマスガ、尙ホ表ニシテ元セト云フ御註文ガゴザイマシタノデ、是ハ商業會議所ニ於キマシタノデ付キマシテモ、先日斯ノ如キ誤ガアルモノト云フコトデ、即チ全體三万五千モアル法人ノ中、八百二十七ノ法人ニ付テ調査ヲサレ、而モ其現在納メテ居ル營業稅ト云フ風モノガ長ダ過少ニ見積テアルト云フ例ヲ以チマシテ數多ノ會社ニ付キマシテ、其倍額若クハ十倍ニモ少ク見テ居ルト云フ風ナ例モ實ハ申上ダタノデアリマスガ、又一方ニハ收益ヲ過大ニ計算シテアルト云フ例モ各種ノ會社ニ付テ實ハ申上ダマシタノデアリマス、是ハ先日申上ダマシタノハ、コチラデ調べマシタ：：詰リ商業會議所デ調べマシタ會社ノ中デ主ナルモノニ付キマシテ、チヨット當ダテ見マシタ所デ、ソレダケノ誤ガアル、從テ利益ガ多クナル、稅額が多クナルト云フ計算ノ誤テ居ルト云フコトヲ申上ダタノデアリマスガ、尙ホ詳細ニ調べタラドウカト云フ御注意ガアリマシタノデ、今尙ホ範圍ヲ廣ク致シマシテ、出來ルダケ廣イ範圍ニ付テ調査ヲ致シマシテ、詰リ商業會議所ノ調査シタ法人ニ付テ調査イタシマシテ表ヲ拵ヘテ居リマスカラ、多分明日位ハ差上ダルコトガ出來ルダラウト思ヒマス、其際ニ於キマシテ商業會議所ノ調査ノ誤シテ居ル：：當局ノ計算ハ前日モ申上ダケマシタヤウニ三万五千ノ全部ノ法人ニ付テ全國ノ稅務署ノシテ調べサシタノデアリマスガ、是ハ御参考マデニ、チヨット申上ゲテ置キマスガ、是ハ單リ現行ノ營業稅法ニアリマスルノミナラズ、府縣制ニモ市

町村制ニモ同ジ規定ガアルノデアリマス、マ
殊ニ府縣制、市町村制ノ如キハ「府縣稅ノ
賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該行政
廳ハ日出ヨリ日沒マテノ間營業者ニ關シテ
ハ仍其ノ營業時間家宅若ハ營業所ニ臨檢シ
又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得」ト云
フ風ニ此賦課ニ付キマシテハ、矢張リサウ
云フ規定ガニ是ハ市町村制ニモ同ジ規定
ガアルノデアリマス、サウ云フ規定ガアル
コトヲ御参考ノ爲ニ申上ダテ置キマス
○井上準之助君 私モチヨット政府委員ニ
申シマスガ、先日大藏大臣ノ御詰ニ、此調
査ノ利益ノ基礎ハ十五年度ト云フヤウナコ
トヲ言ハレタヤウデスガ、サウデセウカ、
十四年度ヲ實數ニ依シテ調ベタノデアリマ
スカ、或ハ十五年度ヲ豫想シテ、ソレヲ基
礎ニシテ、四百數十方圓減ルト言ハレタノ
デセウカ、ソレヲ一ツ伺ッテ置キタイ
○政府委員(黒田英雄君) ソレハ稅法ノ改
正ガナカッタナラバ、十五年度ニドレ位ナ
收入ガアルダロウカト云フコトヲ見マシ
テ、其數字ヲ基礎ト致シマシテ、ソレニ對シ
テ今度ノ改正ガ幾ラ減ルトカ幾ラ殖エルト
カ云フコトヲ調ベマシタノデゴザイマス
○男爵阪谷芳郎君 十四年度ノ計算デヤレ
バ一番ハキリシタ數字ガ得ラレル、十四
年度ノ下半期ノ會社ノ損益勘定ト云フモノ
ハ出テ居ル、ソレニ今度收益稅ノ率ヲ掛ケ
サヘスレバ會社ノ負擔額ガ直グ出ル、ソレ
ニ現行法ノ負擔額ヲ掛ケルト比較ハ直グ出
ル……

ダ十四年度ニ跨^フテ居^リル事業年度ニシテ、今
日終ラナイモノモアリマスカラ、一年分ノ純
益ヲ見マスルニ付キマシテハ、矢張リ完了ヲ
致シテ居^リマスル時ヲ見ルコトガ適當デア
ラウト思ヒマシテ、十三年度ヲ標準ニ取リ
マシテ、ソレニ對シテ五分増シマシテ計算
ヲ致シテ居^リマス

○仁尾惟茂君 チヨット私ハ材料ノ御調べ
ヲ願ヒタインデアリマスガ、ソレハ營業收
益、其他ノ稅ノ…就中、コノ地租デアリ
マスガ、是ガ收益ヲ見積リマシテ、現行ノ
中ニドウ云フ風ニナリマスカ、チヨット私ハ
取出シテ見マスト、甚ダ材料ニ乏シウゴザ
イマスカラ、調べガムヅカシイ、ドウカ之
ヲ一ツ、收益稅ノ全度ノ率ガ他ノ地租稅ニ
比較シマシテ、ドノ位ノ率ノ輕重ニナリマ
スカ、其歩合ヲドウゾ御調べヲ願ヒタウゴ
ザイマス、ソレカラモウ一ツハ地價二百圓
以下ノ免稅點ヲ掛カリマスル所ノ納稅者ノ
數ト、ソレカラ筆數ガ分リマスナラバ、ソ
レヲドウカ御調ヘニナフテ御示シヲ願ヒタ
ウゴザイマス、是ハドウモムヅカシカラウ
ト思ヒマス、實際ノ場合ニハ…ソレカラ
又隣接市町村ト云フ定義ハ、是ハ直接境ヲ
接シテ居ルモノト云フコトデアラウト思ヒ
マス、果シテサウデアリマスレバ、五箇村ニ
ニ必ズ瓦爾場合ガアラウト思ヒマス、ト申
シマスルノハ、中ノ町村、ソレカラ四隣、
東西南北ト云フ風ニ、ドウシテモ五箇村ニ
瓦爾區域ニナッテ來ヤウト思ヒマス、ソレデ
はが分リマスレバ…是ハドウモ困難デハ
アラウト思ヒマスガ…ソレカラモウ一ツ
ハ先年來三箇年モ御調ベニナリマシタ貨貸
價格デアリマスガ、之ヲドウカ出來マスナ
ラバ、…縣郡村、村ニハ即チ區域ヲ設ケテ
調べテアリマスガ、區域マデナクテモ宣シ
ウゴザイマスガ、縣郡村ト、其縣ニ於テノ

平均ト、郡ニ於テノ平均ト、村ニ於テノ平均ト、是ダケノ調べガ出來マスナラバ、ドウカ一ツ御願イタシマス、ソレカラモウ一ツハ國庫ノ負擔金、又分擔金、補助金、此三ツノモノガ國庫ヨリ出マスコトニナッテ居リマスガ、是等ノ種目竝ニ金額ハドノ位モノデゴザイマセウカ、ドウカ御調べガ出來マスナラバ、本年度デモ前年度デモ宜シタイ、宜シク御願イタシマス、出來マセヌモノハソレデ宜シウゴザイマスカラ、出來マスモノガアリマスレバ、ドウゾ願ヒタウゴザイマス、皆ムズカシイモノデ、隨分御迷惑トハ思ヒマスケレドモ、聊カ参考ニ致シタインデアリマスカラ……

子爵裏松	石原	健三君
男爵藤村	義朗君	
男爵長	基連君	
仁尾	惟茂君	
添田	壽一君	
南	弘君	
井上準之助君		
馬場		
西野		
藤山		
末延		
山田		
左右田喜一郎君		
雷太君		
道成君		
惠一君		
君		

政府委員	大藏大臣	大藏省主税局長	内務書記官	田中廣太郎君
			藤井	黒田 英雄君
大藏書記官			眞信君	

○委員長(子爵前田利定君)如何ナモノデアリマスカ、差當リ御質問モ出マセヌヤウデアリマスカラ、今日ハ少シ早ウゴザイマスガ、是デ散會イタシマシテ、明日ハ午前十時半カラ會議ヲ開キマス、此際皆様ニ御詰リ致シマスガ、尙ホ大藏大臣ニ對サレマシテ、御質問ヲナサレタイト云フ方モ御リニナルデアラウト考へマスガ、ソレハ又他日ニ、其機會ヲ御與ヘ申スコトニ致シマシテ、何分豫算委員會等ノ關係デ大藏大臣ヲ何時マデモ御引留メ申スコトモ成リ兼々マスカラ、是ハ他日ニ讓リマシテ、明日カラハ所得稅法ヲ初メト致シマシテ、各案ノ逐條ノ説明ヲ政府委員ニ請求イタシマシテ、ソレニ付テ又箇々ノ御質問ヲ願ヒタクト思ヒマス、今日ハ是デ散會イタシマス

午後三時三十六分散會出席者左ノ如シ

委員長　子爵前田利定君
副委員長　男爵阪谷芳郎君